

平成27年度  
全国学力・学習状況調査

中学校  
国語

# 報告書

一人一人の生徒の学力・学習状況に応じた  
学習指導の改善・充実に向けて

平成27年8月  
文部科学省  
国立教育政策研究所





# 目 次

<b>1. 調査の概要</b>	1
(1) 調査の目的	2
(2) 調査の対象とする児童生徒	2
(3) 調査事項及び手法	2
(4) 調査の方式	2
(5) 調査日時	2
(6) 集計児童生徒・学校数	3
(7) 調査結果の解釈等に関する留意事項	5
<b>2. 教科に関する調査の結果（概要）</b>	7
(1) 調査問題の趣旨・内容，課題等，指導改善のポイント	8
(2) 集計結果（正答等の状況）	10
(3) 知識に関する調査と活用に関する調査の相関等	14
(4) 地域の規模等の状況	15
(5) 都道府県の状況	15
(6) 教育委員会の状況	16
(7) 学校の状況	16
(8) 国・公・私立学校の状況	17
<b>3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題</b>	19
(1) 「3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題」の見方	20
(2) 中学校 国語 A	23
① スピーチをする	24
② 意見文を書く	27
③ 文学的な文章を読む（「風の又三郎」）	30
④ グラフから分かることを書く	34
⑤ 説明的な文章を読む	36
⑥ 説明的な文章を読む	38
⑦ 委員会に寄せられた要望に対する回答を書く	41
⑧ インタビューをする	44
⑨ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	48
(3) 中学校 国語 B	61
① 資料を作成して発表する（オカリナ）	62
② 情報を関連させて読む（2020年）	67
③ 文学的な文章を読む（「貉」）	75



## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査の対象とする児童生徒

#### 【小学校調査】

小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年

#### 【中学校調査】

中学校第3学年，中等教育学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年

### (3) 調査事項及び手法

#### ① 児童生徒に対する調査

##### ア 教科に関する調査〔国語，算数・数学，理科〕

国語，算数・数学はそれぞれ「主として『知識』に関する問題」（A）※<sup>1</sup>と「主として『活用』に関する問題」（B）※<sup>2</sup>を出題。

理科は「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に出題。

※1：身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

※2：知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

##### イ 質問紙調査

学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施。

#### ② 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施。

### (4) 調査の方式

悉皆調査

### (5) 調査日時

平成27年4月21日（火）

#### 【小学校調査】

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	
国語A，算数A (各 20 分)	国語B (40 分)	算数B (40 分)	理科 (40 分)	児童質問紙 (20 分程度)

#### 【中学校調査】

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目	
国語A (45 分)	国語B (45 分)	数学A (45 分)	数学B (45 分)	理科 (45 分)	生徒質問紙 (20 分程度)

(6) 集計児童生徒・学校数

① 集計基準

児童生徒に対する調査について、平成27年4月21日に実施された教科に関する調査及び質問紙調査の結果を集計。学校に対する質問紙調査については、在籍する児童生徒が調査を実施した学校の結果を集計。

② 集計児童生徒数

(小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年)

	調査対象児童数※1	4月21日に調査を実施した児童数※2	【参考】 4月21日～5月8日に調査を実施した児童数
公立	1,090,146人	1,061,301人	1,068,428人
国立	7,151人	7,023人	7,071人
私立	13,132人	6,383人	6,703人
合計	1,110,429人	1,074,707人	1,082,202人

(中学校第3学年，中等教育学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年)

	調査対象生徒数※1	4月21日に調査を実施した生徒数※2	【参考】 4月21日～5月8日に調査を実施した生徒数
公立	1,079,303人	1,016,737人	1,022,112人
国立	11,868人	10,428人	10,695人
私立	82,086人	29,756人	30,083人
合計	1,173,257人	1,056,921人	1,062,890人

※1 調査対象児童生徒数について、公立・国立は、調査実施前に学校から申告された児童生徒数、私立は、平成26年度学校基本調査による。調査当日までの転入出等により増減の可能性がある。

※2 調査を実施した児童生徒数は、回収した解答用紙が最も多かった教科の解答用紙の枚数で算出。

③ 集計学校数

(小学校, 特別支援学校小学部)

	調査対象者の在籍する学校数	4月21日に調査を実施した学校数 (実施率%)	【参考】 4月22日～5月8日に調査を実施した学校数	【参考】 4月21日～5月8日に調査を実施した学校数 (実施率%)
公立	20,033校	20,005校 (99.9%)	17校	20,022校 (99.9%)
国立	75校	75校 (100.0%)	0校	75校 (100.0%)
私立	219校	111校 (50.7%)	4校	115校 (52.5%)
合計	20,327校	20,191校 (99.3%)	21校	20,212校 (99.4%)

(中学校, 中等教育学校, 特別支援学校中学部)

	調査対象者の在籍する学校数	4月21日に調査を実施した学校数 (実施率%)	【参考】 4月22日～5月8日に調査を実施した学校数	【参考】 4月21日～5月8日に調査を実施した学校数 (実施率%)
公立	9,731校	9,691校 (99.6%)	27校	9,718校 (99.9%)
国立	80校	78校 (97.5%)	2校	80校 (100.0%)
私立	757校	351校 (46.4%)	3校	354校 (46.8%)
合計	10,568校	10,120校 (95.8%)	32校	10,152校 (96.1%)

#### (7) 調査結果の解釈等に関する留意事項

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が国語、算数・数学、理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意することが必要である。

本調査の結果においては、国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学B、理科ごとの平均正答数、平均正答率等の数値を示しているが、平均正答数、平均正答率のみでは必ずしも調査結果の全てを表すものではなく、中央値、標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析、評価することが必要である。また、個々の設問や領域等に注目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

#### <用語説明>

語 句	説 明
平均正答数	児童生徒の正答数の平均。
平均正答率	平均正答数を百分率で表示。 ○国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学B、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）。 ○学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率。
中央値	集団のデータを大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。平均値とともに集団における代表値として捉えられる。
最頻値	集団のデータにおいて、最も多く現れる値。
標準偏差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値がすべて同じ）ことを意味する。
相関係数	二つの変数間の関係の程度を一つの数値で表す指標。相関係数は-1から1までの範囲の値をとり、1に近いほど正の相関、-1に近いほど負の相関が強いことを表す。
解答類型	各設問についての正答、予想される誤答などの解答状況を分類し整理したもの。





## 2. 教科に関する調査の結果（概要）

## (1) 調査問題の趣旨・内容，課題等，指導改善のポイント

### ○調査問題の趣旨・内容

#### 国語 A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ スピーチの途中で聞き手の反応を見て，とった対応として適切なものを選択する。  
■ 意見文に対して出された指摘の理由として適切なものを選択する。  
■ 「なぜ，排水管はS字形になっているのか。」という問いに対する答えとして適切なものを選択する。  
■ 漫画の言葉に対応する部分として適切なものを古典の文章の中から選択する。

#### 国語 B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 演奏するタイミングを選択し，その理由をノートの内容と結び付けて書く。  
■ 資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し，その社会にどのように関わっていきたいか，自分の考えを書く。  
■ 文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて，話の展開を取り上げて自分の考えを書く。

### ○課題等

#### 主な特徴

- 伝えたい事実や事柄について自分の考えを表してはいるが，根拠を明確にして書く点に，依然として課題がある。〔B<sup>1</sup>三，B<sup>3</sup>三〕
- 目的に応じて文章や資料から必要な情報を取り出してはいるが，それらを基にして自分の考えをまとめる点に，依然として課題がある。〔B<sup>2</sup>三〕

#### 話すこと・聞くこと

- ◇(A) 相手の反応を踏まえて話すことは，相当数の生徒ができています。〔A<sup>1</sup>一〕  
◆(A) 聞き手を意識し，分かりやすい語句を選択して話すことに課題がある。〔A<sup>1</sup>二〕

#### 書くこと

- ◇(A) 書いた文章を読み返し，語句の選び方や使い方を工夫して書くことは，相当数の生徒ができています。〔A<sup>2</sup>二〕  
◆(A) 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題がある。〔A<sup>7</sup>二〕  
◆(B) 根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに依然として課題があり，指導の充実が求められる。〔B<sup>1</sup>三，B<sup>3</sup>三〕

#### 読むこと

- ◇(A) 登場人物の心情や行動に注意して読んだり，登場人物の言動の意味を考えたりして内容を理解することは，相当数の生徒ができています。〔A<sup>3</sup>二，三〕  
◇(B) 表現の工夫について自分の考えをもつことは，相当数の生徒ができています。〔B<sup>3</sup>一，二〕  
◆(B) 複数の資料から適切な情報を得て，自分の考えをもつことに課題があり，指導の充実が求められる。〔B<sup>2</sup>三〕

#### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇(A) 毛筆を用いて楷書で文字を書くことは，相当数の生徒ができています。〔A<sup>9</sup>五〕  
◆(A) 語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使うことについては，一部に課題がある。  
〔A<sup>9</sup>三イ，オ〕  
◆(A) 単語の類別について理解することに課題があり，指導の充実が求められる。〔A<sup>9</sup>四〕

◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題のある点 ( )内の記号は，A…国語A，B…国語B

[ ] 内の記号は，問題番号

## ○指導改善のポイント

### 話すこと・聞くこと

#### ○ 相手や目的、状況に応じて話す指導の工夫

- ・ 相手や目的、状況に応じて分かりやすく話す力を身に付けるために、第1学年では相手に分かりやすい語句を選択することや言葉遣いなどの知識を生かすこと、第2学年では資料や機器などを効果的に活用すること、第3学年では敬語を適切に使うことなどについて指導するとともに、これまで学習してきたことを振り返りながら学習するように指導する必要がある。その際、聞いただけでは意味が分かりにくい言葉や日常生活で使うことが少ない言葉などについて、準備段階だけではなく、実際に話をする段階でも指導することが大切である。

### 書くこと

#### ○ 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く指導の工夫

- ・ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように書く力を身に付けるために、分かりやすい説明や具体例を加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで書いたりするように指導する必要がある。その際、書いた文章を互いに読み合い、内容に過不足がないか、使用している語句は適切かなどについて検討するように指導することが大切である。

#### ○ 根拠を明確にして自分の考えを書く指導の工夫

- ・ 根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く力を身に付けるために、自分の考えの根拠が明確に書かれているかどうかを吟味するように指導する必要がある。その際、根拠となる内容が適切に取り上げられているか、接続語の使用や段落構成の工夫などによって、読み手に対してどの部分が根拠であるかが分かるように示されているかなど、文章を複数の観点から見直すように繰り返し指導することが重要である。

### 読むこと

#### ○ 多様な情報に触れながら、自分の考えをもつ指導の工夫

- ・ 多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりする力を身に付けるために、複数の本や資料から得た情報について、その真偽や適否を見極めるとともに、書かれている内容を自分と結び付けて考えるように指導する必要がある。また、学校図書館やインターネットなどを利用し、目的や意図に応じて主体的に情報を収集する学習活動を取り入れることも大切である。このような学習の積み重ねにより、幅広く読書を行うことの意味を一人一人が実感できるように指導する必要がある。

### 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

#### ○ 言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにする指導の工夫

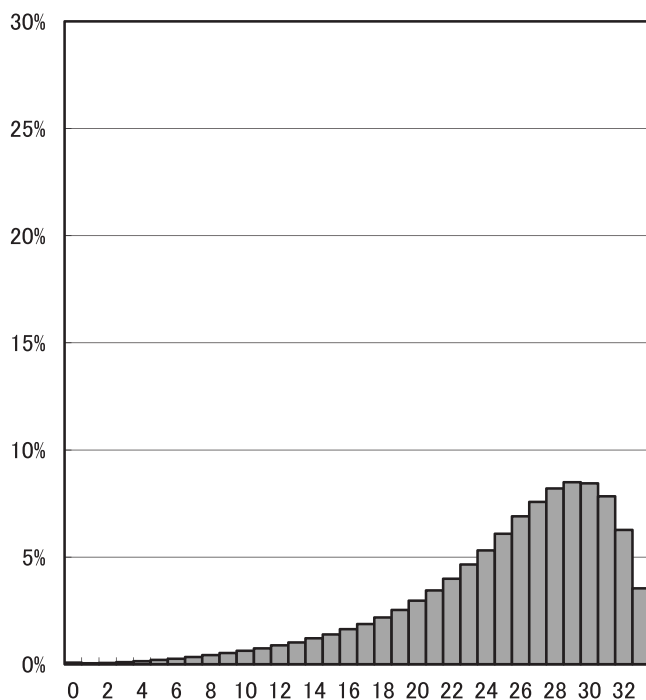
- ・ 言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにするために、各領域の指導の中で、辞書等を使ってなじみの薄い語句や使用頻度の低いと思われる漢字などを積極的に調べる機会を意図的に設ける必要がある。また、文脈に即した適切な言葉や、目的に沿った効果的な言葉について検討する学習も重要である。

## (2) 集計結果（正答等の状況）

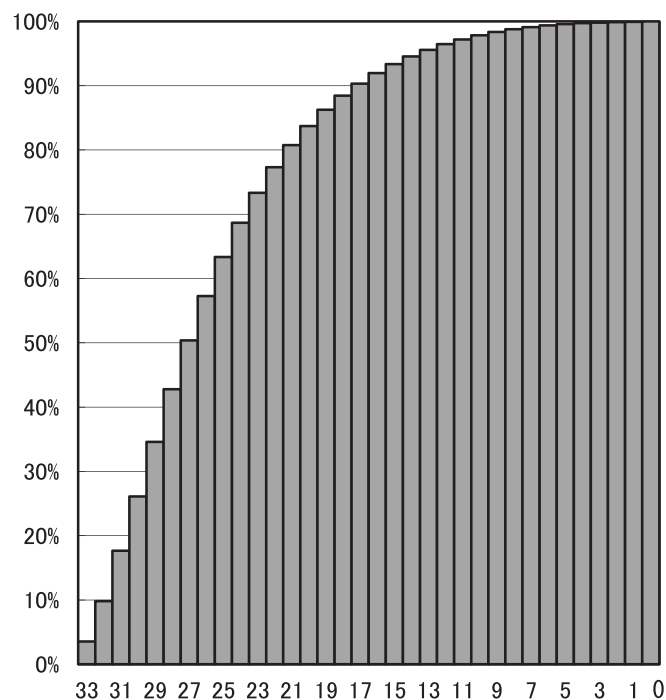
### 【国語A】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,056,612 人	25.2 問/33 問	76.2%	27.0 問	5.9	29 問

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



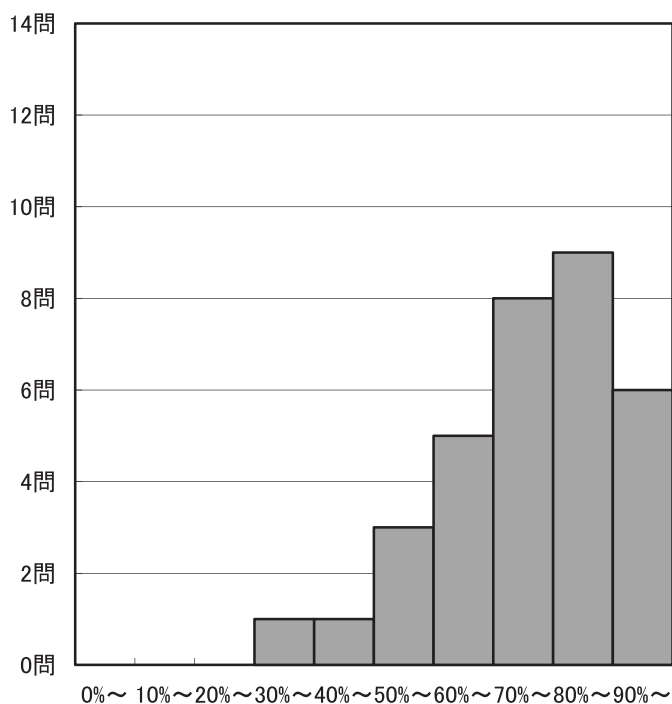
正答数累積グラフ（横軸：正答数，縦軸：累積割合）



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	4	80.1
	書くこと	5	74.1
	読むこと	5	86.4
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	1 9	73.3
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	4	80.1
	書く能力	5	74.1
	読む能力	5	86.4
	言語についての知識・理解・技能	1 9	73.3
問題形式	選択式	2 3	75.9
	短答式	1 0	77.1
	記述式	0	

正答率別設問数（横軸：正答率，縦軸：設問数）



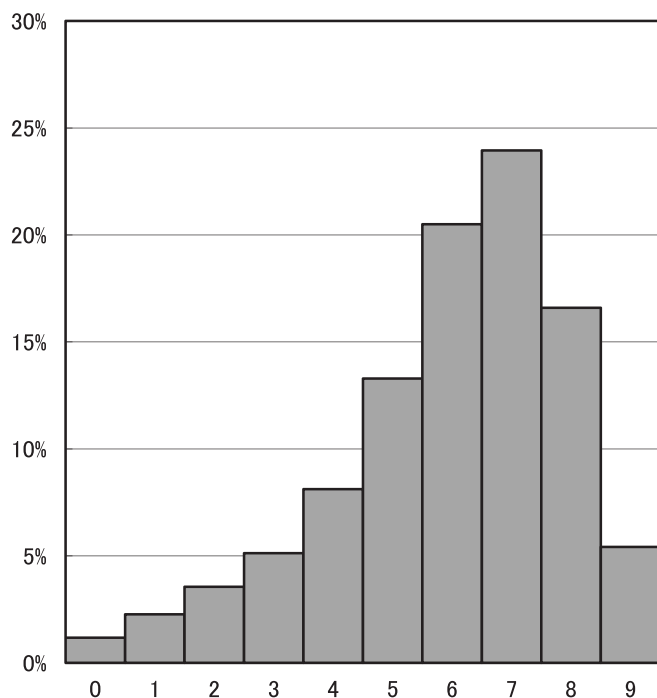
設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正 答 率 (%)	無 解 答 率 (%)	
			話 す こ と ・ 聞 く こ と	書 く こ と	読 む こ と	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	国 語 へ の 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	言 語 に つ い て の 知 識 ・ 理 解 ・ 技 能	選 択 式	短 答 式			記 述 式
1 一	スピーチの途中で聞き手の反応を見て、 とった対応として適切なものを選択する	相手の反応を踏まえて話す	1 イ					○				○			93.2	0.1
1 二	「成否」という言葉を、聞いて分かりやすい 表現に直す	聞き手を意識し、分かりやすい語 句を選択して話す	1 ウ					○					○		65.6	11.7
2 一	意見文に対して出された指摘の理由として 適切なものを選択する	意見を支える根拠の明確さについ て助言する		1 オ					○			○			80.2	0.2
2 二	意見文を直した意図として適切なものを 選択する	書いた文章を読み返し、語句の選 び方や使い方を工夫して書く		1 エ					○			○			84.0	0.2
3 一	用いられている表現の工夫として適切な ものを選択する	表現の技法について理解する				1 (1) イ (オ)					○	○			58.9	0.4
3 二	一人も返事をしたものがなかった理由とし て適切なものを選択する	登場人物の心情や行動に注意して 読み、内容を理解する			1 ウ					○		○			89.0	0.2
3 三	嘉助の言動から読み取れる様子として適 切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内 容を理解する			2 イ					○		○			90.1	0.3
4 一	棒グラフの部の変化の内容を適切に書 く	伝えたい事実を明確に書く		1 ウ					○				○		68.1	4.1
5 一	「なぜ、排水管はS字形になっているの か。」という問いに対する答えとして適 切なものを選択する	文章から適切な情報を得て、考え をまとめる			2 オ					○		○			93.8	0.2
6 一	「あす」と「あした」という言葉の意味の 変化を整理した表に当てはまる言葉とし て適切なものを選択する	目的に応じて要旨を捉える			1 イ					○		○			71.8	0.3
6 二	文章について説明したものとして適切な ものを選択する	表現の特徴を捉える			1 エ					○		○			87.4	0.4
7 一	二つの回答案の構成の違いを説明したも のとして適切なものを選択する	伝えたい事柄が明確になるように 文章の構成を考える		2 イ					○			○			71.2	0.6
7 二	要望を適切に捉え、回答案の冒頭に一文を 加える	伝えたい事柄が相手に効果的に伝 わるように書く		2 ウ					○				○		67.0	8.3
8 一	インタビューをする際の質問の意図とし て適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら聞き取 る	1 エ					○				○			85.0	0.5
8 二	意図に合った質問として適切なものを選 択する		1 エ					○				○			76.5	0.6
9 一 1	漢字を書く (ピョウソク五メートルの風が 吹く)	文脈に即して漢字を正しく書く				2 (1) ウ (イ)					○		○		88.7	2.2
9 一 2	漢字を書く (地図のシュクシャクを調べ る)					2 (1) ウ (イ)					○		○		72.5	9.8
9 一 3	漢字を書く (アマったお金を貯金する)					2 (1) ウ (イ)					○		○		71.5	15.5
9 二 1	漢字を読む (註文に述べる)	文脈に即して漢字を正しく読む				2 (1) ウ (ア)					○		○		78.7	4.9
9 二 2	漢字を読む (シャツの袖をまくる)					2 (1) ウ (ア)					○		○		94.2	1.1
9 二 3	漢字を読む (学校のことが新聞に載る)					2 (1) ウ (ア)					○		○		97.3	1.2
9 三 ア	適切な語句を選択する (将来は、気象予報 士になりたい)	語句の意味を理解し、文脈の中で 適切に使う				2 (1) イ (イ)					○	○			97.7	0.5
9 三 イ	適切な語句を選択する (彼がこの討論の 口火を切った)					1 (1) イ (ウ)					○	○			56.0	0.9
9 三 ウ	適切な敬語を選択する (私が先生のお宅に 参ります)					2 (1) イ (ア)					○	○			84.3	0.7
9 三 エ	適切な語句を選択する (彼女は、学級の 下の力持ちと言える存在だ)					1 (1) イ (ウ)					○	○			71.2	0.8
9 三 オ	適切な語句を選択する (たなびく雲の間か ら、春の光がもれている)					1 (1) イ (ウ)					○	○			49.5	0.7
9 三 カ	適切な語句を選択する (新聞を読む習慣を 身に付ける)					2 (1) イ (イ)					○	○			87.1	0.9
9 四 ①	「青い」と「青さ」の品詞として適切な ものを選択する	単語の類別について理解する				1 (1) イ (エ)					○	○			63.1	0.9
9 四 ②						1 (1) イ (エ)					○	○			34.7	1.0
9 五	運筆の際の説明に対応する部分として適 切なものを選択する	毛筆を用いて、楷書で文字を書く				1 (2) ア						○	○		86.1	0.8
9 六	手紙の後付けの直し方とその理由として 適切なものを選択する	手紙の書き方を理解して書く				1 (2) ア						○	○		58.5	1.1
9 七 1	漫画の言葉に対応する部分として適切な ものを選択する	漫画の内容を参考にして、登場人 物の思いやものの見方を想像する				2 (1) ア (イ)						○	○		75.7	1.4
9 七 2	古典の作品名を漢字で書く	代表的な古典の作品に関心をもつ				1 (1) ア (イ)						○		○	67.2	9.7

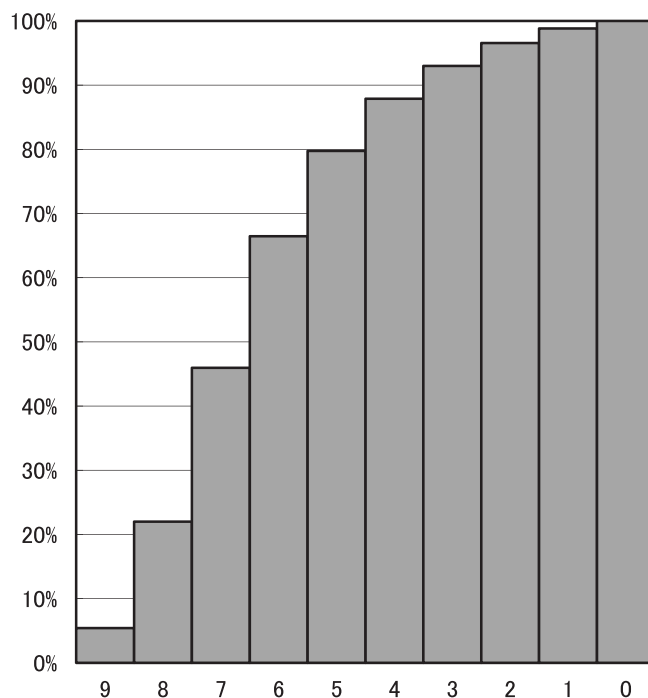
## 【国語B】

生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,056,743 人	6.0 問/9 問	66.2%	6.0 問	2.0	7 問

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:生徒の割合)



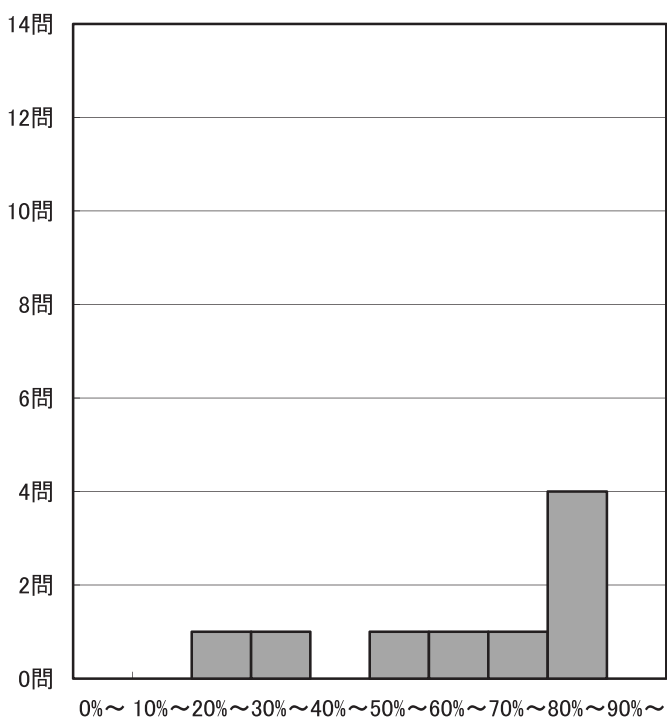
正答数累積グラフ(横軸:正答数, 縦軸:累積割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	72.6
	書くこと	3	37.2
	読むこと	6	63.0
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	0	
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	3	37.2
	話す・聞く能力	3	72.6
	書く能力	3	37.2
	読む能力	6	63.0
	言語についての知識・理解・技能	0	
問題形式	選択式	6	80.7
	短答式	0	
	記述式	3	37.2

正答率別設問数(横軸:正答率, 縦軸:設問数)



# 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点					問題形式			正答率（％）	無解答率（％）
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式		
1 一	ノートのその他の情報を役立てられる場合として適切なものを選択する	状況に応じて、資料を活用して話す	2ウ					○				○			73.6	0.2
1 二	フリップを作成する際に取り入れたポイントとして適切なものを選択する	効果的な資料を作成し、活用して話す	2ウ					○				○			87.5	0.4
1 三	演奏するタイミングを選択し、その理由をノートの内容と結び付けて書く	資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く	2ウ	1ウ			○	○	○					○	56.6	2.7
2 一	ウェブページの文章の内容について述べた文の空欄に当てはまる言葉として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する			1イ					○		○			83.0	0.2
2 二	雑誌の記事に書かれていることとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える			1イ					○		○			68.4	0.3
2 三	資料を参考にして2020年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていきたいか、自分の考えを書く	複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く		2ウ	2オ		○		○	○				○	23.3	3.6
3 一	「お泣きなさるな」という翻訳の効果として適切なものを選択する	表現の工夫について自分の考えをもつ			1エ					○		○			88.8	0.5
3 二	「あたりは……良かった。」の説明として適切なものを選択する				2ウ					○		○			83.0	0.7
3 三	文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く	文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く		1ウ	2ウ		○		○	○				○	31.7	10.9

### (3) 知識に関する調査と活用に関する調査の相関等

#### ■国語 A と国語 B の相関等

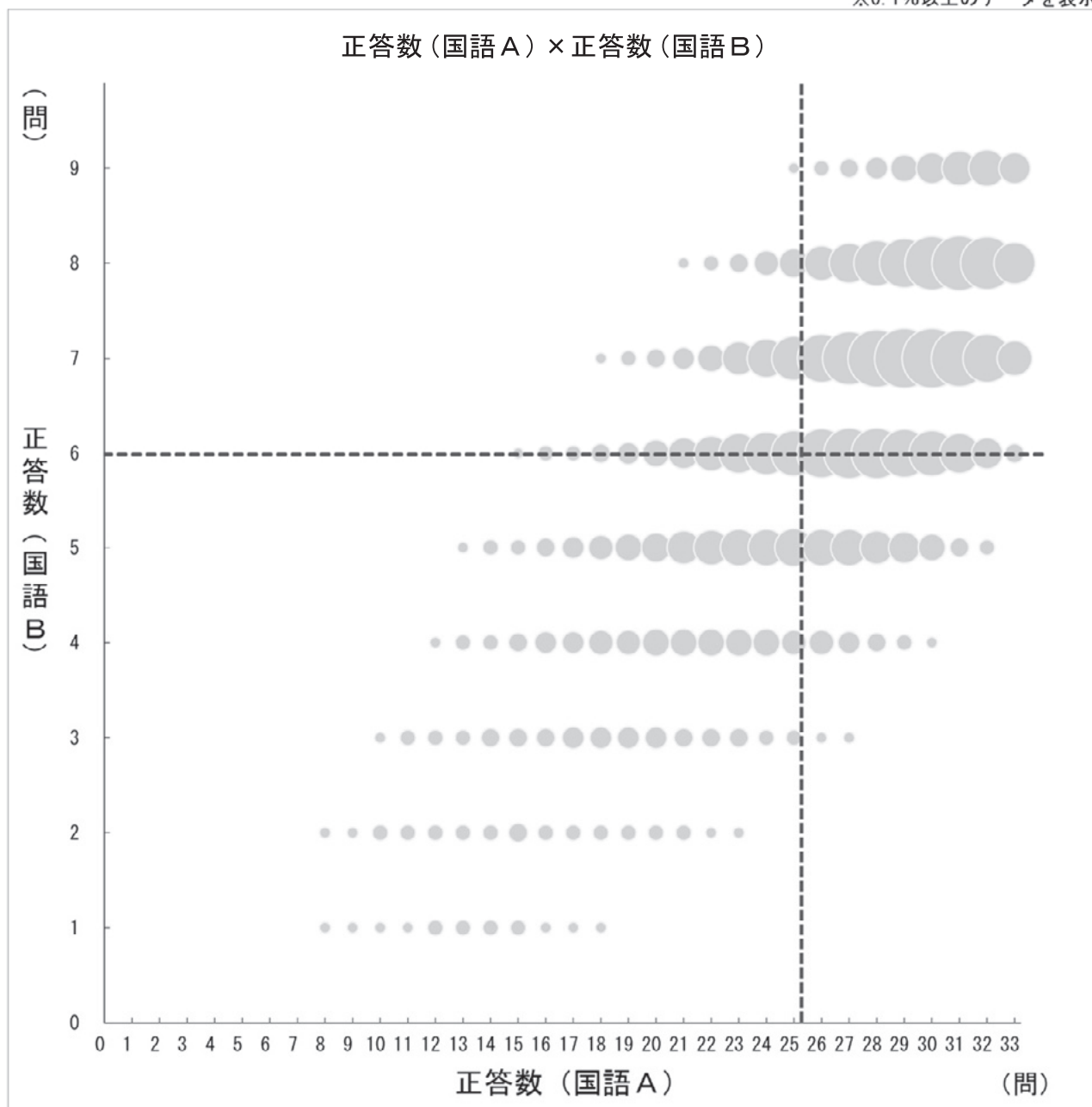
- 中学校において、国語 A と国語 B の正答数に高い相関（相関係数 0.714）が見られる。
- 「国語 A は平均以上」かつ「国語 B は平均未満」の生徒の割合は 7.2%，「国語 A は平均未満」かつ「国語 B は平均以上」の生徒の割合は 16.4%となっている。後者の生徒数は、前者の生徒数の 2 倍以上いる。

国語 A の正答数、国語 B の正答数、正答生徒数の相関をバブルチャートに表したもの。

※ バブルチャート：2 軸の座標軸の上に、大きさが 3 軸目の指標を示す円状の図（バブル）を配置した図表。

生徒数	全国（国公立） 国語 A 平均正答数	全国（国公立） 国語 B 平均正答数	生徒の正答数分布状況（上段：生徒数 下段：生徒数の割合（%））				相関係数
			国語 A・国語 B ともに平均以上	国語 A は平均以上 国語 B は平均未満	国語 A は平均未満 国語 B は平均以上	国語 A・国語 B ともに平均未満	
1,055,777	25.2	6.0	529,029 50.1	75,893 7.2	173,052 16.4	277,803 26.3	0.714

※0.1%以上のデータを表示



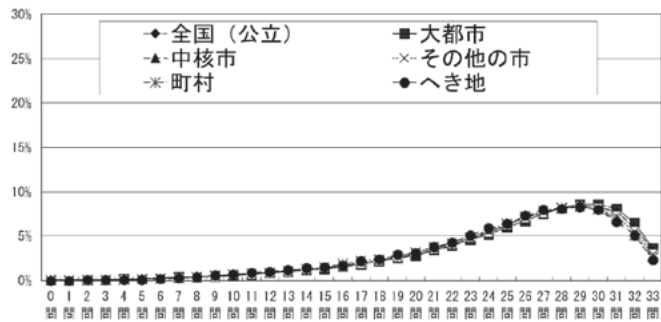
※グラフの点線は、全国（国公立）の平均正答数を表す。



(4) 地域の規模等の状況

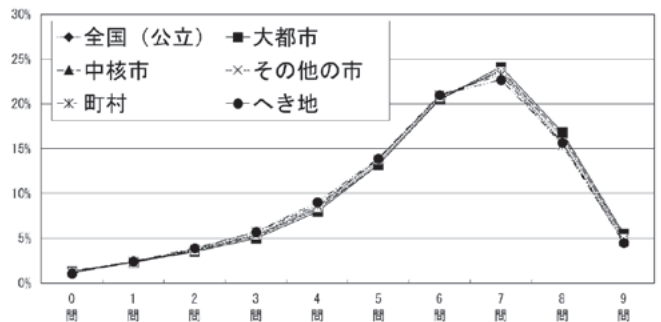
○ 平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差を見ると、26 年度同様、地域の規模等（公立：大都市、中核市、その他の市、町村、へき地）による大きな差は見られない。

[国語 A] 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
全国（公立）	1,016,451	25.0 / 33	75.8	26.0	6.0
大都市	243,731	25.2 / 33	76.4	27.0	6.0
中核市	148,183	25.1 / 33	76.1	27.0	6.0
その他の市	519,147	24.9 / 33	75.4	26.0	5.9
町村	96,272	24.8 / 33	75.1	26.0	5.9
へき地	18,757	24.7 / 33	74.9	26.0	5.8

[国語 B] 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：生徒の割合）



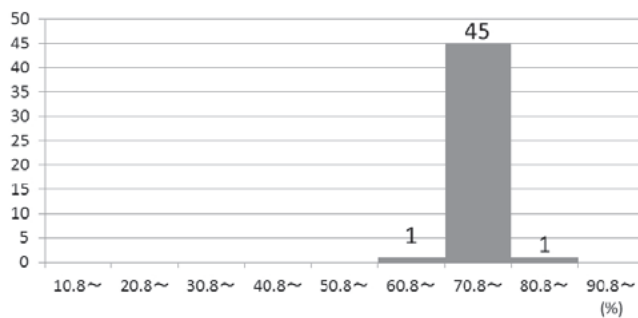
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
全国（公立）	1,016,575	5.9 / 9	65.8	6.0	2.0
大都市	243,798	6.0 / 9	66.3	6.0	2.0
中核市	148,218	5.9 / 9	65.9	6.0	2.0
その他の市	519,179	5.9 / 9	65.4	6.0	2.0
町村	96,266	5.9 / 9	65.1	6.0	2.0
へき地	18,765	5.8 / 9	65.0	6.0	2.0

※大都市（政令指定都市及び東京 23 区）、中核市、その他の市、町村の値は、当該地方公共団体の教育委員会が設置管理する公立学校に在籍する生徒の調査結果（正答数）を集計したものである（都道府県立学校は含まない）。  
※へき地の値は、へき地教育振興法及び各都道府県の条例（規則）によって指定された学校に在籍する生徒の調査結果を集計したものである。大都市、中核市、その他の市、町村の値に重複する。

(5) 都道府県の状況

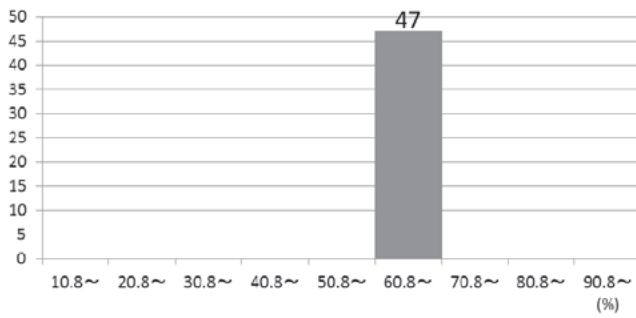
○ 各都道府県（公立）の状況については、平均正答率を見ると、26 年度同様、ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり、大きな差は見られない。

[国語 A] 正答率分布グラフ（横軸：平均正答率、縦軸：都道府県数）



全国（公立）の平均正答率	47都道府県（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	47都道府県（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
75.8%	80.8% 【+5.0%】	70.0% 【-5.8%】

[国語 B] 正答率分布グラフ（横軸：平均正答率、縦軸：都道府県数）



全国（公立）の平均正答率	47都道府県（公立）中、最高平均正答率【全国との差】	47都道府県（公立）中、最低平均正答率【全国との差】
65.8%	70.7% 【+4.9%】	61.3% 【-4.5%】

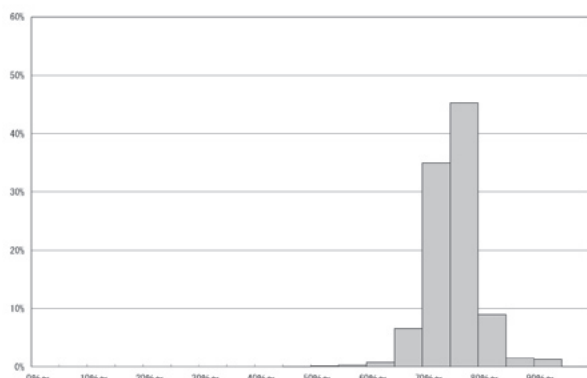
## (6) 教育委員会の状況

○ 各教育委員会の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、26年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

### [国語A]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,791	25.0 / 33	75.6	75.6	4.6

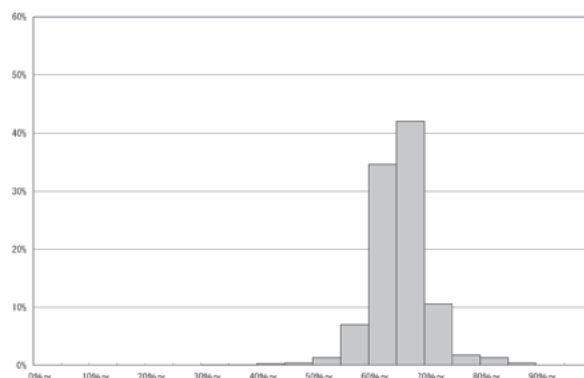
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



### [国語B]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,791	5.9 / 9	65.6	65.6	5.2

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



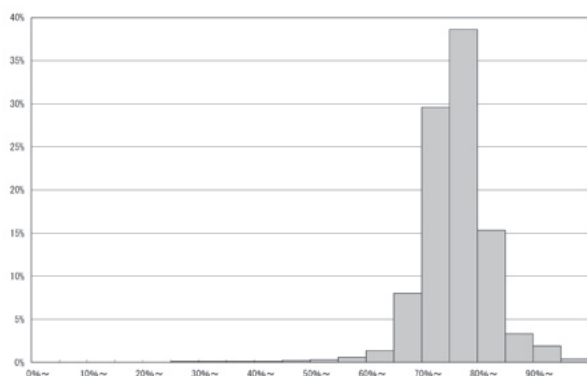
## (7) 学校の状況

○ 各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、26年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

### [国語A]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
10,118	25.1 / 33	75.9	76.1	6.7

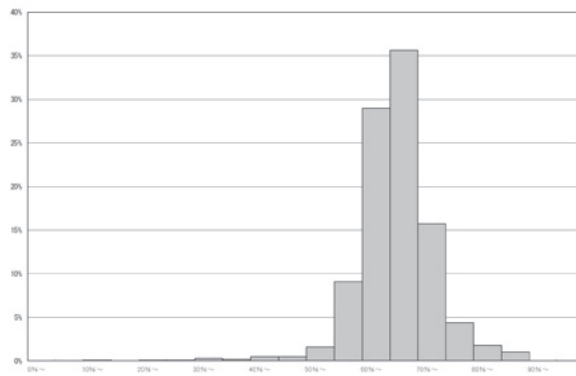
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）



### [国語B]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
10,118	5.9 / 9	66.0	66.1	7.2

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）

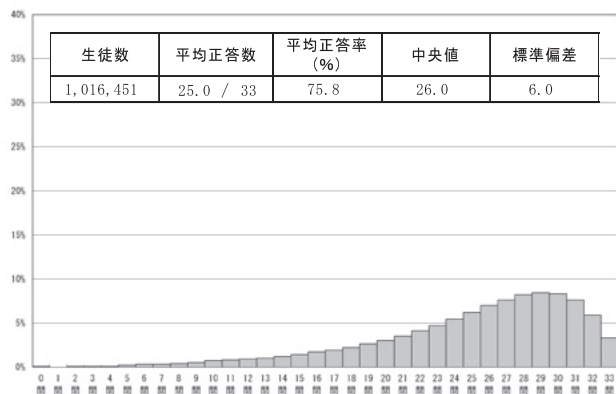


## (8) 国・公・私立学校の状況

○ 国立・私立学校は一般的に入学者選抜を行っていることに留意する必要があるが、平均正答数について見ると、26 年度同様、国立・私立学校は、公立学校を上回っている。

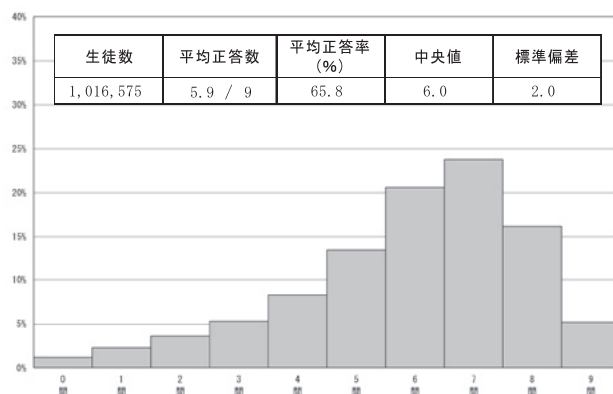
### [国語 A]

＜公立＞ 正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）

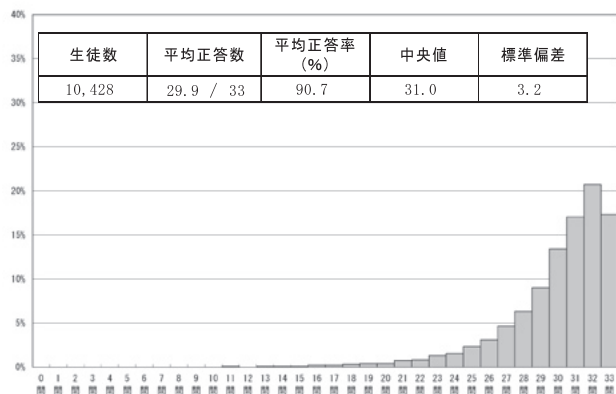


### [国語 B]

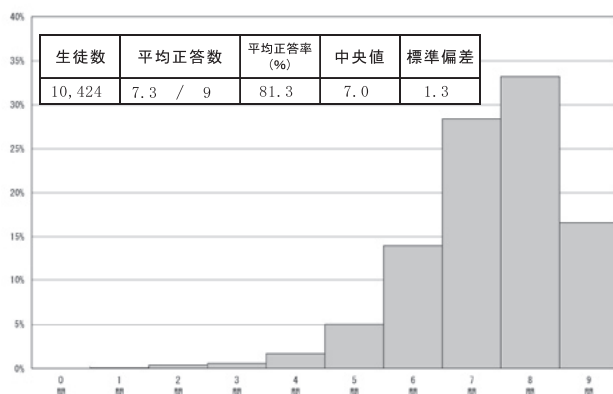
＜公立＞ 正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



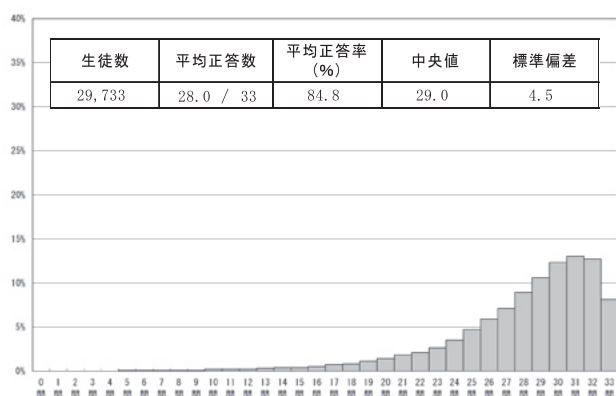
＜国立＞ 正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



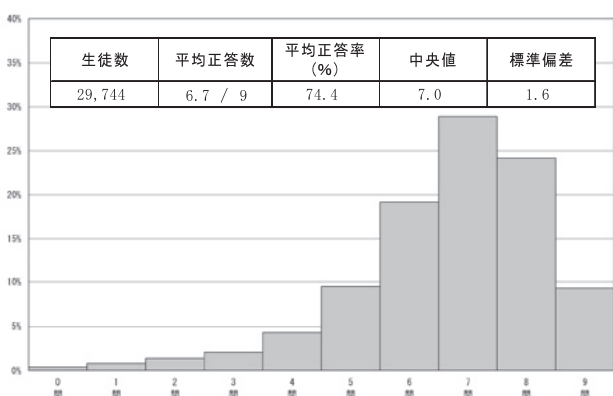
＜国立＞ 正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



＜私立＞ 正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



＜私立＞ 正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）





### 3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題

### (1)「3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題」の見方

調査問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容（区分・内容，分野・内容），解答類型と反応率，分析結果と課題，学習指導に当たって等を記述しています。

**問題画像**  
 調査問題を縮小して掲載しています。

**出題の趣旨**  
 調査問題ごとに設問の趣旨を示しています。

**趣旨**  
 設問ごとの趣旨を示しています。

**■学習指導要領における領域・内容**  
 調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるよう、関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

**解答類型と反応率**  
 解答類型ごとの反応率，正答の条件，正答例を示しています。  
 （詳細は下欄参照）

教科名 A
.....

## 問 題 画 像

**出題の趣旨**

**設問**

**■学習指導要領における領域・内容**  
 (第○学年) .....

**解答類型と反応率**

問題番号	解 答 類 型	反 応 率 (%)	正 答
1	.....	.....	◎
2	.....	.....	.....
3	.....	.....	.....
4	.....	.....	.....
5	上記以外の解答	.....	.....
6	無解答	.....	.....

#### 解答類型と反応率

解答類型は，一人一人の児童生徒の具体的な解答状況を把握することができるよう，設定する条件などに即して解答を分類，整理するためのものです。正誤だけではなく，一人一人の誤答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

＜正答について＞

「◎」… 解答として求める条件を全て満たしている正答

「○」… 設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

※ 反応率は小数第二位を四捨五入したものであるため，「◎」と「○」の反応率の合計と正答率が一致しない場合があります。

#### 分析結果と課題

設問ごとに，以下の内容について記述しています。

- ・ 正答率，成果・課題の有無
- ・ 特徴的な誤答について，反応率，誤答例，課題の詳細
- ・ これまでの調査で見られた課題との関連
- ・ 関連する過去の調査問題

など

※図はイメージです。

**分析結果と課題**

○ .....

○ .....

○ .....

○ .....

○ .....

**学習指導に当たって**

○ .....

○ .....

○ .....

○ .....

(参照)  
「4年間のまとめ【○学校編】」 P.□～P.□, P.□  
「平成○年度【○学校】報告書」 P.□～P.□, P.□

※出典等

.....

**分析結果と課題**  
正答率，課題の有無，誤答の分析，  
これまでの調査で見られた課題との関  
連等を記述しています。  
(詳細は前ページの下欄参照)

**学習指導に当たって**  
調査結果を受け，学習指導の改善・  
充実を図る際のポイントを記述して  
います。(詳細は下欄参照)

**※出典等**  
著作物について，出典及び著作権者等  
を示しています。

### 学習指導に当たって

調査問題に関係する領域・内容について，各学年での日々の学習指導の改善・充実を図る際に御活用ください。また，本書のほか，授業の改善・充実を図る際の参考となるよう，授業のアイディアの一例を示すものとして「授業アイディア例」（本年9月中旬公表予定）を作成しますので，本書及び「解説資料」（本年4月公表）と併せて御活用ください。

なお，関連する過去の調査の報告書や授業アイディア例など，これまで作成した資料の該当ページを記載していますので，これらの資料も併せて御活用ください。

本書では，以下の資料については略称を用いています。

資 料	略 称
「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【○学校編】」	「4年間のまとめ【○学校編】」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】報告書」	「平成○年度【○学校】報告書」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】の結果を踏まえた授業アイディア例」	「平成○年度【○学校】授業アイディア例」
「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力，表現力等の育成に向けて～【○学校版】」	「言語活動事例集【○学校版】」
「理科の学習指導の改善・充実に向けた調査分析について【○学校】」	「理科の調査分析【○学校】」
「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた理科の観察・実験に関する指導事例集【○学校】」	「観察・実験事例集【○学校】」





### 3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題

#### (2) 中学校 国語 A

## 国語A 1 スピーチをする

1 石川さんは、調べた言葉についてスピーチをします。次は、リハーサルの様子の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。( ) の中には、頭の中で考えていることを表します。

場面①

私は、「さじ加減」という言葉を調べました。さじ加減は、もともと薬の分量を調節することを表す言葉ですが、次のような使い方をすることもあります。

「さじ」って何のことかな

あれ「さじ」の意味が分からないよ。うだな。

石川さん

場面②

あっ、「さじ」とは、スプーンのことです。料理番組で、大さじ、小さじという言葉を聞いたことがあると思います。

「さじ」ってスプーンのことだったのか。

石川さん

場面③

使い方として、例えば「この企画の成否は、彼のさじ加減一つで決まる。」のように言います。

「せいひ」って何かな。

石川さん

一 石川さんは、場面①で聞き手の反応を見て、場面②のような対応をしました。石川さんがとった対応として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 説明が必要ないと感じたことを一部分省略した。
- 2 聞き手の理解が得られるまで同じことを何度も繰り返した。
- 3 聞き手の理解を確認するために問いかけた。
- 4 説明が必要だと感じた言葉について補足をした。

二 石川さんは、リハーサル後に友達から、場面③の——線部「成否」の意味が分かりづらいので、聞いて分かりやすい表現に直した方がよいというアドバイスをもらいました。どのような言葉に直すとよいですか。次の ( ) に当てはまる言葉を十字以内で書きなさい。

この企画が ( ) は、彼のさじ加減一つで決まる。

### 出題の趣旨

- ・ 相手の反応を踏まえて話すこと
- ・ 聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話すこと

### 設問一

#### 趣旨

相手の反応を踏まえて話すことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 《話すこと》

## 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率(%)	正答
①	1 1と解答しているもの	1.2	
	2 2と解答しているもの	1.2	
	3 3と解答しているもの	4.3	
	4 4と解答しているもの	93.2	◎
	9 上記以外の解答	0.0	
	0 無解答	0.1	

## 分析結果と課題

○ 正答率は93.2%であり、相当数の生徒ができています。

## 学習指導に当たって

### 聞き手の反応に応じて話す

話をする際には、うなずきや表情などの聞き手の反応から、話がどのように受け止められているか、どの程度理解されているかを捉えて話すように指導することが引き続き大切である。その際、聞き手の反応を踏まえて、内容を補足したり言葉を言い換えたりするなど、どのように対応すればよいのかを具体的に考えさせることも大切である。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語ー１も参考になる。

(参照)

「言語活動事例集【中学校版】」P.19～P.20

## 設問二

### 趣旨

聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話すことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。 《話すこと》

## 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率(%)	正答
①	二 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 「成否」という言葉を、聞いて分かりやすい表現に適切に直して書いている。 ② 「この企画が」と「は、彼のさじ加減一つで決まる。」に適切に続くように、十字以内で書いている。		

	(正答例)		
	・ (この企画が) 成功するかしないか (は、彼のさじ加減一つで決まる。)	(9字)	
	・ (この企画が) 成功するか失敗するか (は、彼のさじ加減一つで決まる。)	(10字)	
1	条件①, ②を満たして解答しているもの	65.6	◎
2	条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	0.8	
3	条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	14.0	
9	上記以外の解答	7.9	
0	無解答	11.7	

## 分析結果と課題

○ 正答率は65.6%であり、聞き手にとって分かりやすい言葉に直して話すことに課題がある。無解答率は11.7%である。

○ 解答類型3の反応率は14.0%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(誤答例)	
・ (この企画が) 成か否か (は、彼のさじ加減一つで決まる。)	(4字)
・ (この企画が) 賛成か否定か (は、彼のさじ加減一つで決まる。)	(6字)

このように解答した生徒は、「成否」の意味を文脈に沿って分かりやすく言い換えることができていない。

## 学習指導に当たって

### 聞き手を意識するとともに、分かりやすい言葉を使って話す

スピーチなどの活動を行う際には、話の速度や音量、言葉の調子や間の取り方などについて、これまで学習してきたことを振り返るとともに、聞き手にとって分かりやすい言葉を選択して話すことが大切である。聞いただけでは意味が分かりにくい言葉や日常生活で使うことが少ない言葉などについては、聞き手の反応を踏まえて分かりやすい言葉に言い換えたり、説明を加えたりするように指導する必要がある。その際、言い換えた言葉が文脈に沿った正しい表現になっているかなどを確かめさせることも大切である。また、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)の「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項」の学習と関連させ、語感を磨き語彙を豊かにするように指導することも有効である。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－1も参考になる。

(参照)

「言語活動事例集【中学校版】」P.19～P.20

## 国語A 2 意見文を書く

2

次は、山川さんが書いた「意見文の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

本を読んだとき、印象的な言葉に出会ったり、筆者の考えに共感したりすることがある。しかし、読み終わったときには覚えていても、少し時間がたつと忘れてしまい、本のどこに書いてあったかも分からないという経験をしたことはないだろうか。

私は、読んだ本について記録を残すことが大事だと考える。なぜなら、本を読んだ記録を残すことは大切なことだからだ。

具体的には、本のページの角を折ったり、しおりを挟んだり、気になる箇所に線を引いたりするなど、本に印を付けて読む方法がある。また、ページ数をノートにメモしながら読むのもよい。メモをするとき、<sup>④</sup>や著者名、出版年、書名など本の基本的な情報や、気になる箇所を書き写しておけば、それがそのまま自分の読書記録になる。そうすれば、自分がその本を読んだときに考えたことをいつでも振り返ることができる。

せっかく読書をするのであれば、本から得た内容をしっかりと自分のものにしたい。そういう意味でも、記録を残す読書は有効である。ぜひ一度、実践<sup>⑤</sup>してみようか。

一 山川さんは、「意見文の下書き」を読んだ友達から、――線部「なぜなら、本を読んだ記録を残すことは大切なことだからだ。」の部分が不適切であるという指摘を受けました。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 書いてある内容が二通りに受け止められて、伝えたいことが明確ではないから。
- 2 書いてある内容と結論との関係がなく、文章全体としてのつながりがないから。
- 3 書いてある内容が意見の繰り返しであり、意見を支える根拠になっていないから。
- 4 書いてある内容と他の部分とが矛盾していて、論として筋が通らなくなっているから。

二 山川さんは、「意見文の下書き」を読み直して、<sup>⑥</sup>と<sup>⑦</sup>の二箇所を直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

- 1 難しい言葉を削ることで、読み手が一読して理解できるようにした。
- 2 読み手にはたらかせる表現を取り入れて、共感を得ようとした。
- 3 重要な言葉を繰り返し、伝えたいことを強く印象付けようとした。
- 4 例を増やすことで、あいまいな部分をより具体的にしようとした。

### 出題の趣旨

- ・ 意見を支える根拠の明確さについて助言すること
- ・ 書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書くこと

### 設問一

#### 趣旨

意見を支える根拠の明確さについて助言することができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。

《交流》

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
②	一	1	1と解答しているもの	7.9	
		2	2と解答しているもの	9.1	
		3	3と解答しているもの	80.2	◎
		4	4と解答しているもの	2.6	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.2	

## 分析結果と課題

○ 正答率は80.2%であり、相当数の生徒ができています。

## 学習指導に当たって

### 意見を支える根拠の明確さについて具体的に助言する

書いた文章を互いに読み合う学習活動を行う際には、題材の捉え方や材料の用い方、根拠の明確さなどの具体的な観点に基づいて交流することが大切である。特に、根拠の明確さについて交流する際には、根拠が意見を支えるものとして適切であるかどうかを十分に検討する必要がある。その際、「なぜなら、……だからだ。」などの形になっていても、その内容が適切でなければ根拠として成り立たなかったり、不十分だったりすることに気付くように指導することが引き続き大切である。

## 設問二

### 趣旨

書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。 《推敲》

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
②	二	1	①の欄に4, ②の欄に2と解答しているもの	84.0	◎
		9	上記以外の解答	15.8	
		0	無解答	0.2	

## 分析結果と課題

- 正答率は84.0%であり，相当数の生徒ができています。
- 解答類型9の反応率は15.8%である。これは，書き手が文章を直した意図を捉えられなかったものと考えられる。

## 学習指導に当たって

### 相手や目的に応じて，読みやすく分かりやすい文章になるように推敲する

意見を述べる文章などを推敲する際には，自分の意見が読み手にどのように伝わるかという観点で表記や語句の用法，叙述の仕方などを確かめるように指導することが引き続き大切である。その際，小学校での表記や語句に関する学習を踏まえることが重要である。また，第2学年〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)の「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項」などとの関連を図り，助詞や助動詞の役割や働きを意識して文章を読み返すように指導することも有効である。



国語 A 3 文学的な文章を読む（「風の又三郎」）

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

（ここまでのあらすじ） 山あいの小さな小学校に高田三郎が転校してきた。三郎が何かすると風が吹いたので、子供たちは伝説の風の神の子である「風の又三郎」かもしれないと思った。翌朝、一郎と嘉助が運動場で待っているところ三郎が現れた。

「来たぞ。」と一郎が思わず下にいる嘉助へ叫ぼうとしていますと、早くも三郎はどてをくるつとまわって、どんな正門をはいって来るかと。

「お早う。」とはっきり言いました。みんなはいっしょにそちをふり向きましたが、一人も返事をしたものがありませんでした。それは返事をしないのではなく、みんなは先生にはいつでも「お早うございます。」というように習っていたのですが、お互いに「お早う。」なんて言ったことがなかったのに三郎にそう言われても、一郎と嘉助はあんまりにわかって、また勢いがいいのでどうとう黙してしまつて一郎も嘉助も口の中でお早うというかわりに、もにやもにやと言つてしまつたのです。

ところが三郎のほうはずつだんそれを苦にするふうもなく、二三歩また前へ進むとじつと立って、そのまっ黒な目でぐるつと運動場じゅうを見まわしました。そしてしばらくたれだれと相手がないかさがしているようでした。けれどもみんなきよろきよろ三郎のほうはみえても、やはり忙しそうに棒かくしをたり三郎のほうへ行くものがありませんでした。三郎はちよつと具合が悪いようにそこにつつ立っていました。また運動場をも一度見まわしました。

それからぜんたいこの運動場は何間あるかというように、正門から玄関まで大まかに歩数を数えながら歩きはじめました。一郎は急いで鉄棒をはねおいて嘉助とならんで、息をこらしてそれを見ていました。

そのうち三郎は向こうの玄関の前まで行つてしまつと、こちへ向いてしばらく暗算をするように少し首をまげて立っていました。みんなはやはりきよろきよろそちを見ています。三郎は少し困つたように両手をうしろへ組むと向こう側の土手のほうへ職員室の前を通つて歩きました。

その時風がざあつと吹いて来て土手の草はざわざわ波になり、運動場のまん中でさあつと塵が上がり、それが玄関の前まで行くとき、きりきりとまわつて小さなつむじ風になって、黄いろな塵は旗をさかさまにしたような形になって屋根より高くなるようになりました。すると嘉助が突然高く言いました。

「そうだ。やつぱりあいづ又三郎だぞ。あいづ何かするときつと風吹いてくるぞ。」

（高田三郎「風の又三郎」による）

（注1） にわい突然

（注2） ぜんたいいったい

（注3） 何間あるかどのくらいの長さがあるか

一 線部①「どてをくるつとまわって、どんな正門をはいって来る」とありますが、ここでの表現の工夫として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 擬態語が用いられている。
- 2 例置法が用いられている。
- 3 体言止めが用いられている。
- 4 直喩が用いられている。

二 線部②「一人も返事をしたものがありませんでした」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 みんなが騒がしく遊んでいたため、「お早う。」と挨拶をした三郎の音がよく聞き取れなかったから。
- 2 先生でもないのに「お早う。」と挨拶をした三郎の態度が、偉そうに思えて気に入らなかったから。
- 3 先に「お早う。」と挨拶をする心づもりでいたのに、三郎に先を越されてたじろいってしまったから。
- 4 友達同士ではしたことがない「お早う。」という挨拶を三郎にされて、気おくれしてしまったから。

三 本文中の「……で開かれた部分から、嘉助のどのような様子が読み取れますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「風の又三郎」の吹かせた風が弱くてがっかりしている様子。
- 2 転校生が「風の又三郎」だと確信して興奮している様子。
- 3 三郎の行動の意味が分からず腹を立てている様子。
- 4 三郎を仲間にするのができて喜んでいる様子。



## 出題の趣旨

- ・ 表現の技法について理解すること
- ・ 登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること
- ・ 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること

### 設問一

#### 趣旨

表現の技法について理解しているかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 比喩や反復などの表現の技法について理解すること。

#### 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率(%)	正答
3	1 1と解答しているもの	58.9	◎
	2 2と解答しているもの	14.6	
	3 3と解答しているもの	13.4	
	4 4と解答しているもの	12.6	
	9 上記以外の解答	0.0	
	0 無解答	0.4	

#### 分析結果と課題

- 正答率は58.9%であり、様々な表現の技法の意味や用法を名称と結び付けて理解することに課題がある。
- 解答類型2の反応率は14.6%、解答類型3の反応率は13.4%、解答類型4の反応率は12.6%である。これらは、具体的な表現と「倒置法」、「体言止め」、「直喩」などの名称とを結び付けて理解できていないものと考えられる。

#### 学習指導に当たって

##### 表現の技法の名称を具体的な表現と結び付けて理解する

表現の技法の意味や用法について学習する際には、小学校で具体的な表現に即して指導していることを踏まえた上で、比喩や反復などの名称と結び付けて理解することができるよう指導する必要がある。例えば、表現の技法の名称とその用例をカードにまとめて分類したり、その効果について気付いたことを書き加えたりするなどの学習活動が有効である。また、作成したカードを活用するなどして、各領域の指導の中で表現の技法の意味や用法について確認することも大切である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A3二に係る授業アイデア例も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】報告書」P.137

(参考)

※ 平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>3</sup>二では、「比喻という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解することができるかどうかをみる」問題を出題した。

(正答率 43.0%)

※ 平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>1</sup>一では、「表現の技法について理解しているかどうかをみる」問題を出題した。(正答率 66.0%)

## 設問二

### 趣旨

登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。

《文章の解釈》

### 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
3	二	1	1と解答しているもの	2.0	
		2	2と解答しているもの	5.2	
		3	3と解答しているもの	3.7	
		4	4と解答しているもの	89.0	◎
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.2	

### 分析結果と課題

○ 正答率は89.0%であり、相当数の生徒ができています。

### 学習指導に当たって

#### 登場人物の言動に着目して読む

物語や小説などの内容を理解するためには、言葉を手掛かりにしながら登場人物の言動や情景描写などに着目して読むように指導することが引き続き大切である。

指導に当たっては、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>3</sup>に係る授業アイデア例、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－3も参考になる。

(参照)

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P. 5～P. 6, 「平成24年度【中学校】報告書」P. 208～P. 209, 「言語活動事例集【中学校版】」P. 23～P. 24

### 設問三

#### 趣旨

登場人物の言動の意味を考え、内容を理解しているかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係，例示や描写の効果，登場人物の言動の意味などを考え，内容の理解に役立てること。 《文章の解釈》

#### 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
3	三	1	1と解答しているもの	2.6	◎
		2	2と解答しているもの	90.1	
		3	3と解答しているもの	3.9	
		4	4と解答しているもの	3.0	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.3	

#### 分析結果と課題

○ 正答率は90.1%であり，相当数の生徒ができています。

#### 学習指導に当たって

##### 登場人物の言動の意味を考え，内容を理解する

文学的な文章を読む際には，登場人物の言動が，話の展開や作品全体の中でどのような意味をもつのかを考えながら読むように指導することが引き続き大切である。例えば，話の展開において重要な意味をもつと考えた言動を紹介して，その根拠を話し合うなどの学習活動が考えられる。

指導に当たっては，平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B3に係る授業アイデア例，「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力，表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－3も参考になる。

（参照）

「平成24年度【中学校】授業アイデア例」P. 5～P. 6，「平成24年度【中学校】報告書」P. 208～P. 209，「言語活動事例集【中学校版】」P. 23～P. 24

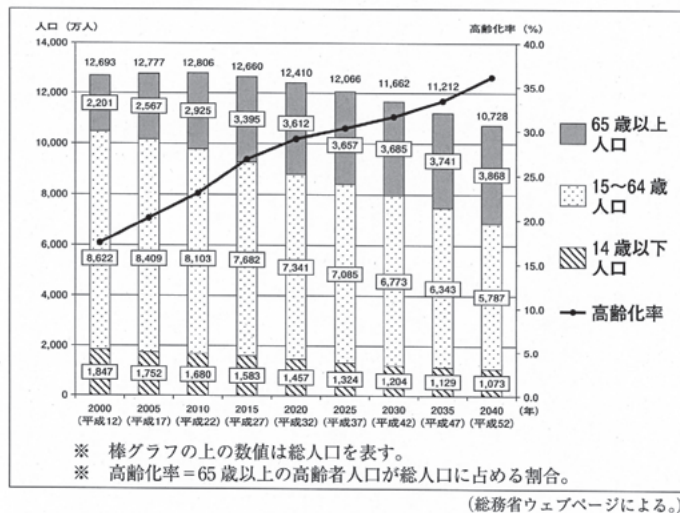
（参考）

※ 平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B3二では，「落語に登場する人物の言動の意味を考え，その姿を想像することができるかどうかをみる」問題を出題した。  
（正答率 67.8%）

#### ※出典等

宮沢賢治「風の又三郎」（『童話集 風の又三郎 他十八篇』昭和42年7月 岩波書店）による。

国語A 4 グラフから分かることを書く



【日本の人口推移を表したグラフ】

4 次は、西暦二〇〇〇年以降の「日本の人口推移を表したグラフ」(予想を含みます。)と、それを見て分かったことについて「田村さんが書いた文章」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【田村さんが書いた文章】

一  には、棒グラフの  の部分の変化を読み取った内容が入ります。 に当てはまる言葉を、【田村さんが書いた文章】の書き方を参考にして、十五字以内で書きなさい。

まず、棒グラフを見て分かることが四つある。

- ・ 二〇一〇年以降、総人口が減っていく
- ・ 十四歳以下の人口が減っていく
- ・ 十五～六十四歳の人口が減っていく

そして、折れ線グラフから、高齢化率が上昇し続けていくことが分かる。二〇四〇年には、二〇〇〇年の二倍以上になっていると予想されている。

出題の趣旨

- ・ 伝えたい事実を明確に書くこと

設問一

趣旨

伝えたい事実を明確に書くことができるかどうかをみる。


■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

《記述》

## 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
4	一 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 棒グラフの  の部分の変化について適切に取り上げて書いている。 ② 【田村さんが書いた文章】の書き方を参考にして、十五字以内で書いている。 (正答例) ・ 六十五歳以上の人口が増えていく (15字) ※ 「六十五」は、六五や65と書いてもよい。		
	1 条件①、②を満たして解答しているもの	68.1	◎
	2 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	12.5	
	3 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	5.9	
	9 上記以外の解答	9.3	
	0 無解答	4.1	

## 分析結果と課題

○ 正答率は68.1%であり、棒グラフから読み取った内容を、文章の他の部分の書き方を参考にした上で明確に書くことに課題がある。

○ 解答類型2の反応率は12.5%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(誤答例)
・ 六十五歳以上のグラフが増える (14字)
・ 高齢者の人口が増加 (9字)

このように解答した生徒は、【田村さんが書いた文章】の書き方を参考にして書くことができていない。

## 学習指導に当たって

### 読み取った情報の内容を適切に書く

説明や記録の文章を書く際には、目的や意図に応じて図表などを用いるとともに、図表などの中から必要な情報を取り上げて適切に記述することが大切である。その際、読み取った情報が正しいかどうかを確かめ、読み手に正確に伝わる言葉を選択して記述するように指導することが重要である。また、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)の「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項」の学習と関連させ、語感を磨き語彙を豊かにするように指導することも有効である。

## ※出典等

【日本の人口推移を表したグラフ】は、総務省ウェブページを参考にした。

国語 A 5 説明的な文章を読む

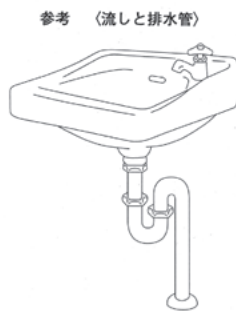
5 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

最近では、<sup>⑤</sup>流しの排水管はあまり目につかない部分に設置するようになってきたこともあって、意識して見ないと気づかないことも多いのですが、たしかに排水管は図1に示したようにS字形の構造（正確にはSを横に倒した形）をしています。

この部分がS字形になっていると、いつも図1のように管内に水が残った状態になります。排水管は流しを下水管につなぐためのものなので、本当はS字形の管よりもまっすぐな管でないほうが排水の流れはスムーズになります。それではなぜ、わざわざS字形にしているのでしょうか。排水管がまっすぐだったとしましょう。すると、排水管の先の下水管から、室内にまで臭気が流れてきたり、虫が侵入してきたりする可能性があります。この臭気の流入や虫の侵入を、S字部分にたまった水が防いでいるのです。排水管がまっすぐではなく、S字形をしているのには、このような理由があります。

（注） 流し＝流し台のこと。

（録田正裕「なぜ流し台の下の排水管はS字形なの？」による。）



参考 〈流しと排水管〉

【図1 S字形の排水管】



ー 次の【問い】に対する答えとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【問い】

なぜ、排水管はS字形になっているのか。

- 1 S字部分にたまった臭気で虫を集め、水の流れをスムーズにするため。
- 2 S字部分にたまった水で、臭気や虫の流入をスムーズにするため。
- 3 S字部分にたまった水が、臭気の流入や虫の侵入を防ぐため。
- 4 S字部分にたまった臭気や虫が、水の流入を防ぐため。

出題の趣旨

- ・ 文章から適切な情報を得て、考えをまとめること

設問一

趣旨

文章から適切な情報を得て、考えをまとめることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。  
《読書と情報活用》

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
5	一	1	1と解答しているもの	1.5	
		2	2と解答しているもの	2.2	
		3	3と解答しているもの	93.8	◎
		4	4と解答しているもの	2.3	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.2	

## 分析結果と課題

○ 正答率は93.8%であり、相当数の生徒ができています。

## 学習指導に当たって

### 課題を解決するために文章を読み、適切な情報を得る

疑問や課題の解決の手掛かりとなる情報を求めて文章を読む際には、自分の疑問に対する答えが書かれている部分に着目し、その情報の真偽や適否を見極めながら考えをまとめるように指導することが引き続き大切である。

指導に当たっては、平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>2</sup>三に係る授業アイディア例も参考になる。

(参照)

「平成26年度【中学校】授業アイディア例」P.11～P.12

(参考)

※ 平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B<sup>2</sup>三では、「資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことができるかどうかをみる」問題を出題した。(正答率 28.8%)

## ※出典等

鎌田正裕「なぜ流し台の下排水はS字形なの？」(松森靖夫編著『科学・考えもしなかった41の素朴な疑問 突飛なようで奥が深い!』平成20年9月 講談社)による。



国語 A 6 説明的な文章を読む

6 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(NHKアナウンス室編『サバを読む』の「サバ」の正体 NHK 気になることばによる。)

(注) 白々 夜が明けて空がだんだん明るくなっていくさま。

(NHKアナウンス室編『サバを読む』の「サバ」の正体 NHK 気になることばによる。)

二 この文章について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 「あす」と「あした」は違う意味の言葉だったということ、専門家の意見を引用しながら説明している。

2 「あす」と「あした」は違う意味の言葉だったということ、和歌などを例に挙げながら説明している。

3 「あす」と「あした」は違う意味の言葉だったということ、複数の辞書の記述を比較しながら説明している。

4 「あす」と「あした」は違う意味の言葉だったということを、筆者の体験を踏まえながら説明している。

一 上の「表」は、「あす」と「あした」という言葉の意味がどのように変化したかを整理したものです。①と②に当てはまる言葉を、次の1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

1 今日の次の日

2 あかつき

3 夜の始まり

4 翌朝

表

今 ← 昔	
← ①	あす
← ②	あした

夜が終る頃

翌日の午前中

翌日の日中全体

次の日

出題の趣旨

- 目的に応じて要旨を捉えること
- 表現の特徴を捉えること

設問一

趣旨

目的に応じて要旨を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
6	1 ①の欄に1，②の欄に4と解答しているもの	71.8	◎
	9 上記以外の解答	28.0	
	0 無解答	0.3	



## 分析結果と課題

○ 正答率は71.8%である。

○ 解答類型9の反応率は28.0%である。誤答のうち①の欄に「1」を選択した上で、②の欄に「4」以外を選択した生徒は、全体の12.9%であった。これは、「あした」の言葉の意味の変化について説明している部分と、それ以外の部分とを正確に読み分けることができなかったものと考えられる。

## 学習指導に当たって

### 目的に応じて情報を整理しながら文章を読む

必要な情報を求めて文章を読む際には、自分にとってどのような情報が必要なのかを確認した上で、文章中の情報を整理しながら読み進めることが大切である。例えば、段落ごとの要旨を捉えたり、説明の順序に着目しながら必要な情報について表にまとめたりするなどの学習活動が有効である。

指導に当たっては、平成22年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A[8]に係る授業アイディア例も参考になる。

(参照)

「平成22年度【中学校】報告書」P.130,「4年間のまとめ【中学校編】」P.104

## 設問二

### 趣旨

表現の特徴を捉えることができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。

《自分の考えの形成》

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
[6]	二	1	1と解答しているもの	3.1	◎
		2	2と解答しているもの	87.4	
		3	3と解答しているもの	6.2	
		4	4と解答しているもの	3.0	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.4	

## 分析結果と課題

○ 正答率は87.4%であり、相当数の生徒ができている。

## 学習指導に当たって

### 文章の構成や展開，表現の特徴を捉える

説明的な文章を読む際には，内容を正確に理解するだけでなく，文章の構成や展開，説明の仕方など表現の特徴を分析的に捉え，その工夫や効果について自分の考えをもつように指導することが引き続き大切である。

### ※出典等

NHKアナウンス室編『「サバを読む」の「サバ」の正体 NHK 気になることば』（平成26年3月 新潮社）による。

## 国語A 7 委員会に寄せられた要望に対する回答を書く

7 次は、美化委員会に対して寄せられた「要望」と、美化委員会が掲示板上に掲示する予定の「回答A」、「回答B」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【要望】

美化委員会へ  
 美化委員会に要望があります。  
 現在、美化委員会では毎朝花壇に水やりを行っています。  
 それを、放課後も行ってはどうか。これからの時期は暑くなり、朝の水やりだけでは足りないと思います。  
 ぜひ、検討してください。

【回答A】

委員会で検討したところ、「指摘はもっともだ」、「放課後は、委員も部活動に出るのでできない」など、様々な意見が出されました。その結果、「委員だけで放課後に水やりを行うことは難しい」ということになりました。  
 そこで、生徒の皆さんからもボランティアを募集して、放課後の水やりを行っていくことにします。  
 美化委員長 小林 太郎

【回答B】

委員会で検討した結果、「委員だけで放課後に水やりを行うことは難しい」ということになりました。そこで、生徒の皆さんからもボランティアを募集して、放課後の水やりを行っていくことにします。  
 話し合いの中では、「指摘はもっともだ」という意見もあった一方で、「放課後は、委員も部活動に出るのでできない」という意見が出され、このような結論になりました。  
 美化委員長 小林 太郎

生徒会意見箱

1 【回答A】では感想を述べてから事実を説明し、【回答B】では事実を説明してから感想を述べている。  
 2 【回答A】では事実を説明してから感想を述べ、【回答B】では感想を述べてから事実を説明している。  
 3 【回答A】では検討の経過を説明してから結論を述べ、【回答B】では結論を述べてから検討の経過を説明している。  
 4 【回答A】では結論を述べてから検討の経過を説明し、【回答B】では検討の経過を説明してから結論を述べている。

二 【回答A】の冒頭に、次の一文を入れて掲示することにした。□に当てはまる適切な言葉を十八字以内で書きなさい。

□ という要望について回答します。

### 出題の趣旨

- ・ 伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考えること
- ・ 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くこと

### 設問一

#### 趣旨

伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考えることができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。

《構成》

## 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
7	1 1と解答しているもの	5.8	
	2 2と解答しているもの	7.6	
	3 3と解答しているもの	71.2	◎
	4 4と解答しているもの	14.7	
	9 上記以外の解答	0.0	
	0 無解答	0.6	

## 分析結果と課題

○ 正答率は71.2%である。

○ 解答類型4の反応率は14.7%である。これは、回答案に「結論」と「検討の経過」が書かれていることは理解しているが、それらがどのような構成で書かれているかは理解できていないものと考えられる。

## 学習指導に当たって

### 文章の構成を工夫する

要望や質問などに回答する文章を書く際には、伝えたいことの中心的部分と付加的な部分とを分けた上で、相手の立場に立って文章中に位置付ける必要がある。その際、「頭括型」、「尾括型」、「双括型」といった構成で書いた実際の文章を比較するなどして、目的や意図に応じて、より効果的な構成を考えて書くように指導することが大切である。

## 設問二

### 趣旨

伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

## 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
7	二 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【要望】から、放課後も花壇に水やりを行ってはどうかという内容を適切に取り上げて書いている。 ② 「という要望について回答します。」に適切に続くように、十八字以内で書いている。		

		(正答例)		
		・ 放課後も花壇に水やりを行ってほしい (という要望について回答します。)	(17字)	
		・ 花壇に水やりを放課後も行ってはどうか (という要望について回答します。)	(18字)	
		・ 放課後も水やりをしてほしい (という要望について回答します。)	(13字)	
	1	条件①, ②を満たして解答しているもの	67.0	◎
	2	条件①を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	0.4	
	3	条件②を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	23.0	
	9	上記以外の解答	1.3	
	0	無解答	8.3	

## 分析結果と課題

○ 正答率は67.0%であり,【要望】の内容を正確に捉え,伝えたい事柄が読み手に効果的に伝わるように書くことに課題がある。

○ 解答類型3の反応率は23.0%である。具体的な例としては,以下のようなものがある。

(誤答例)	
・ 放課後にもしてほしい	(10字)
・ 毎朝の花壇の水やりだけでは足りない	(17字)

このように解答した生徒は,【要望】にある情報を適切に取り上げて過不足なく書くことができていないものと考えられる。

## 学習指導に当たって

### 目的や意図に応じて,読み手に効果的に伝わるように書く

投書に対する回答や,メールの返信などの文章を書く際には,相手が求めている事柄を的確に捉え,それに対して必要な情報を過不足なく書く必要がある。その際,書く目的や読み手の立場によって,取り上げる事柄や言葉の選び方を工夫するように指導することが大切である。例えば,同じ内容を伝える際に,情報を共有している特定の相手に対して書く場合と,不特定の読み手を想定して書く場合との工夫点の違いを検討するなどの学習活動が考えられる。また,〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(1)の「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項」の学習と関連させ,語感を磨き語彙を豊かにするように指導することも有効である。

指導に当たっては,平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>3</sup>二に係る授業アイディア例,「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力,判断力,表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語一2も参考になる。

(参照)

「平成25年度【中学校】授業アイディア例」P.13～P.14,「言語活動事例集【中学校版】」P.21～P.22

(参考)

※ 平成25年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A<sup>3</sup>二では,「文の接続に注意し,伝えたい事柄を明確にして書くことができるかどうかをみる」問題を出題した。

(正答率 49.6%)

国語A 8 インタビューをする

8

林さんは、「総合的な学習の時間」に「すし」について調べ、まとめることにしました。次は、林さんが「事前に準備した質問」とすし屋の店主である山本さんにインタビューをした際の「記録の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【事前に準備した質問】

- ・ おすしの魅力は、どのようなところですか。
- ・ 酢飯を作るときに気を付けていることは何ですか。
- ・ すしに、寿司、鰯などいろいろな漢字があるのはなぜですか。

【記録の一部】



林 おすしの魅力は、どのようなところだとお考えですか。

山本 すしの魅力は、季節を感じられるということですね。

林 季節を感じられるということですが、おすしの何で季節を感じることができるのですか。

山本 例えば、旬の食材です。私はいつも市場の人から情報を聞いて、旬の魚をできるだけ安く仕入れるようにしています。

林 苦労して旬の食材を仕入れているんですね。ところで、酢飯を作るときに気を付けていることは何ですか。

山本 お米は時期によって状態が違うので、それに合わせて水や酢の量を調節することですね。

一 ―線部「季節を感じられるということですが、おすしの何で季節を感じることができるのですか。」とありますが、林さんはどのような意図でこの質問をしたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 相手の発言を確かめて、事前に準備していた別の話題に移ろうとした。
- 2 相手の発言の問題点を指摘し、理解をより確かなものにしようとした。
- 3 相手の発言の内容をまとめて、他のものとの相違点を捉えようとした。
- 4 相手の発言を受けて、そこからさらに具体的な話を聞き出そうとした。

二 □の部分で、林さんは、――線部と同じ意図で質問をしました。その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 酢飯を作るのは大変なのですね。例えば、水の量を増やすのはどのような時期ですか。
- 2 水や酢の量を調節しているのですね。ところで、すしにいろいろな漢字があるのはなぜですか。
- 3 いつも市場で仕入れをしているのですか。市場が休みのときの仕入れはどうしているのですか。
- 4 旬の食材の仕入れは大変ですね。魚以外の食材はどのように仕入れられているのですか。

出題の趣旨

- ・ 必要に応じて質問しながら聞き取ること

設問一

趣旨

必要に応じて質問しながら聞き取ることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。  
《聞くこと》

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
8	一	1	1と解答しているもの	5.0	
		2	2と解答しているもの	6.1	
		3	3と解答しているもの	3.3	
		4	4と解答しているもの	85.0	◎
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.5	

## 分析結果と課題

○ 平成24年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A[2]では、「狙いを明確にして質問をすることができるかどうかをみる」問題（正答率 65.5%）に課題が見られた。

これを踏まえて、必要に応じて質問しながら聞き取る問題を出題したところ、正答率は85.0%であった。

今回の結果から、必要に応じて明確な意図をもって質問をすることについて、身に付いてきていると考えられる。

## 学習指導に当たって

### 話し手の意図を捉えながら聞き、発言の内容に応じて質問をする

インタビューをする際には、一問一答だけではなく、必要に応じて適切な質問をしながら聞くことで、話の内容や話し手の意図をより明確に捉えることができる。その際、質問には幾つかの種類があることを具体例を挙げながら指導することが引き続き大切である。質問の種類としては、例えば、以下のようなものが考えられる。

- ・相手が言いたいことを確かめるための質問
- ・足りない情報を聞き出すための質問
- ・具体的な話を引き出すための質問
- ・話題を変えるための質問 など



(参考)

○平成24年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A[2]

2

中村さんは、次の【高木さんの発表のはじめの部分】を聞きながら、質問をしたい内容をカードに書いています。カードの内容は、どのようなねらいをもっていますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【高木さんの発表のはじめの部分】

みなさん、野生動物とはどのような動物か知っていますか。

野生動物とは、山や野原などの自然の中でくらしている動物たちのことです。その種類を正確につかむことは難しく、五百万とも五千万ともいわれています。その野生動物の一部が世界各地で絶めつの危機に直面しているということをニュースで知りました。

そこで、わたしは、どのような原因で絶めつが進んでいるのか疑問をもち、調べてみることにしました。

～（発表が続く）～

【中村さんが書いたカード】

野生動物の一部が世界各地で絶めつの危機に直面しているということだが、それらの動物の名前をいくつか教えてほしい。

1 調べるために役に立った資料は、どのようなものかを知ろうとしている。

2 最も伝えたかったことは、どのようなことを確かめようとしている。

3 発表の内容について、どのような具体例があるのかを知ろうとしている。

4 調べたきっかけは、どのようなことだったのかを確かめようとしている。

解答類型と反応率

設問番号	解答類型	反応率(%)	正答
2	1 と解答しているもの	9.2	
	2 と解答しているもの	14.9	
	3 と解答しているもの	65.5	◎
	4 と解答しているもの	9.8	
	9 上記以外の解答	0.1	
	0 無解答	0.6	



## 設問二

### 趣旨

必要に応じて質問しながら聞き取ることができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り, 自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。  
《聞くこと》

### 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型	反応率 (%)	正答
8	二	1 1と解答しているもの	76.5	◎
		2 2と解答しているもの	15.2	
		3 3と解答しているもの	3.6	
		4 4と解答しているもの	4.0	
		9 上記以外の解答	0.0	
		0 無解答	0.6	

### 分析結果と課題

○ 正答率は76.5%である。

○ 解答類型2の反応率は15.2%である。このうち、設問一で選択肢4と解答した生徒は、全体の10.6%である。これは、設問一で林さんの質問の意図は捉えられているものの、相手の発言を受けて、具体的な話を聞き出すための質問がどのようなものかを理解できていないものと考えられる。

### 学習指導に当たって

#### 必要に応じて新たな質問をしながら聞く

質問をしながら話を聞く際には、相手の話の内容を踏まえ、事前に用意した質問だけではなく、より具体的な答えや話などを引き出すための新たな質問をすることが大切である。また、話の途中や話が終わった時点で質問するなど、適切な機会を捉えて質問することも重要である。例えば、テーマを設けて相互にインタビューし合い、話し手と聞き手のやり取りを振り返って評価し合うなどの学習活動が考えられる。

国語 A 9 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

9 次の一から七までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書<sup>がくしよ</sup>でていねいに書きなさい。

- 1 ビヨウツク五メートルの風が吹く。
- 2 地図のシユクシヤクを調べる。
- 3 アマったお金を貯金する。

二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

- 1 詳細<sup>しんじゆ</sup>に述べる。
- 2 シヤツの袖<sup>そで</sup>をまくる。
- 3 学校のことが新聞に載<sup>の</sup>る。

三 次のアからオの文では、最も適切な言葉を、カ<sup>カ</sup>の文では、——線部に当てはまる漢字として正しいものを、それぞれ( )の1から4までの中から一つ選びなさい。

- ア 将来は、(1) 気象 (2) 気性 (3) 起床 (4) 希少<sup>きせう</sup> 予報士になりたい。
- イ 彼がこの討論の(1) 火種 (2) 点火 (3) 火薬 (4) 口火<sup>くち</sup>を切った。
- ウ 私が先生のお宅に(1) 承ります (2) いただきます (3) 参ります (4) いらつしやいます。
- エ 彼女は、学級の(1) 緑 (2) 床 (3) 板 (4) 画<sup>え</sup>の下<sup>した</sup>の力持ちと言<sup>い</sup>える存在だ。
- オ (1) たてこもる (2) たちならぶ (3) たなびく (4) たたずむ 雲の間から、春の光がもれている。
- カ 新聞を読むシユウカン(1) 間 (2) 慣 (3) 刊 (4) 感<sup>かん</sup>を身に付ける。

四 次の文章の①と②に当てはまるものとして最も適切なものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

私は伝えたい内容が明確になるように、次のアの文をイの文に変えました。イの文の方が、器の色が特に目を引き付けたことが伝わります。これは「青い」という①を、「青さ」という②に変えて、主語にしているためです。

- ア 大きな青い器が私の目を引き付けた。
- イ 大きな器の青さが私の目を引き付けた。

- 1 名詞
- 2 動詞
- 3 形容詞
- 4 形容動詞

五 次の【説明】は「水」という字のどの部分を書く際のものです。あとの①から④までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

【説明】

徐々に筆圧を加えていき、一度筆を止めて、穂先をそろえるように払う。



六 次は、松田洋子さんが、職場体験でお世話になった小山健さんへ書いたお礼の「**手紙の下書き**」です。松田さんは、「**手紙の下書き**」の後付けの部分について正しく直すことにしました。直し方とその理由として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

【手紙の下書き】

拝啓

さわやかな季節となりました。お元氣でお過ごしでしょうか。

さて、先日の職場体験の際には大変お世話になりました。私たちの質問についてねいにお答えくださりましてありがとうございます。

最後になりましたが、皆様の御健康をお祈りいたします。

敬具

十月一日

松田洋子

小山健様

1 差出人が誰かを明確にするため、「松田洋子」は、「十月一日」と同じ高さに書く。

2 相手に敬意を示すため、「小山健様」は、「松田洋子」や「十月一日」より高い位置に書く。

3 名前の方が重要なので、「松田洋子」と「小山健様」は、「十月一日」より高い位置に書く。

4 日付は重要ではない情報なので、「十月一日」は、「松田洋子」や「小山健様」と同じ高さに書く。

七 次は、「**漫画の一部**」とその場面の「**古典の文章の一部**」です。「**古典の文章の一部**」の（ ）の中は現代語訳で書かれています。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（「**漫画の一部**」の①から⑤は、順番を表します。）

【漫画の一部】

【古典の文章の一部】

「何事思ひたまふぞ。おぼすらむこと、何事ぞ」と言へば、「思ふこともなし。物なむ心細くおぼゆる」と言へば、翁<sup>①</sup>、「月な見たまひぞ。これを見たまへば、物おぼす気色はあるぞ」と言へば、「いかで月を見ではあらむ」とて、（やはり月が出ると、縁側に出て座り、ため息をついている。）

1 【**漫画の一部**】の④にある□の部分には、「**古典の文章の一部**」のどの部分と対応していますか。対応している部分として最も適切なものを、「**古典の文章の一部**」の——線部①から⑤までのの中から一つ選びなさい。

2 【**古典の文章の一部**】の作品名を漢字四字で書きなさい。

## 出題の趣旨

- ・ 文脈に即して漢字を正しく書くこと
- ・ 文脈に即して漢字を正しく読むこと
- ・ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと
- ・ 単語の類別について理解すること
- ・ 毛筆を用いて、楷書で文字を書くこと
- ・ 手紙の書き方を理解して書くこと
- ・ 漫画の内容を参考にして、登場人物の思いやものの見方を想像すること
- ・ 代表的な古典の作品に関心をもつこと

### 設問一

#### 趣旨

文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ

(イ) 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

#### 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型	反応率 (%)	正答
9	1	1 「秒速」と解答しているもの	88.7	◎
		2 「秒速」のうち「秒」だけ正しく解答しているもの	6.8	
		3 「秒速」のうち「速」だけ正しく解答しているもの	1.5	
		9 上記以外の解答	0.9	
		0 無解答	2.2	
	2	1 「縮尺」と解答しているもの	72.5	◎
		2 「縮尺」のうち「縮」だけ正しく解答しているもの	9.1	
		3 「縮尺」のうち「尺」だけ正しく解答しているもの	3.8	
		9 上記以外の解答	4.7	
		0 無解答	9.8	
	3	1 「余(った)」と解答しているもの	71.5	◎
		9 上記以外の解答	13.0	
		0 無解答	15.5	

#### 分析結果と課題

○ 1の正答率は88.7%であり、相当数の生徒ができています。

○ 2の正答率は72.5%である。

○ 3の正答率は71.5%である。

解答類型9の反応率は13.0%である。「残」、「預」などという誤答が見られた。無解答率は15.5%である。

## 学習指導に当たって

### 日常的な漢字の学習（書く）

漢字を書くことの指導においては、漢字の字形や画数、読みや意味などの基本的な事項を確実に指導することが大切である。例えば、字形が似ている漢字を取り上げ、漢字の意味と部首との関係を考えたり、それぞれの漢字を使った熟語が文章中でどのような意味で用いられているかを確認したりする学習活動が有効である。また、各教科等における学習の中で漢字を適切に使用するように指導することも重要である。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A[8]に係る授業アイデア例、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語10も参考になる。

（参照）

「平成21年度【中学校】報告書」P.195,「4年間のまとめ【中学校編】」P.111,

「言語活動事例集【中学校版】」P.37～P.38

## 設問二

### 趣旨

文脈に即して漢字を正しく読むことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ウ

(ア) 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型	反応率 (%)	正答
[9]	二 1	1 「しょうさい」と解答しているもの	78.7	◎
		2 「しょうさい」のうち「しょう」だけ正しく解答しているもの	0.4	
		3 「しょうさい」のうち「さい」だけ正しく解答しているもの	11.6	
		9 上記以外の解答	4.4	
		0 無解答	4.9	
	二 2	1 「そで」と解答しているもの	94.2	◎
		9 上記以外の解答	4.6	
		0 無解答	1.1	
	二 3	1 「の(る)」と解答しているもの	97.3	◎
		9 上記以外の解答	1.5	
		0 無解答	1.2	

## 分析結果と課題

○ 1の正答率は78.7%である。

解答類型3の反応率は11.6%である。「せんさい」、「せいさい」などという誤答が見られた。

○ 2の正答率は94.2%であり、相当数の生徒ができています。

- 3の正答率は97.3%であり，相当数の生徒ができています。

## 学習指導に当たって

### 日常的な漢字の学習（読む）

漢字を読むことの指導においては，文脈の中でどのような意味で用いられているかを理解しながら読むように指導することが大切である。例えば，辞書を活用して，漢字一字一字の音訓を確かめるとともに，その漢字が用いられたいろいろな語句を，実際の文章の中で使う学習活動が有効である。

指導に当たっては，平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A[8]に係る授業アイディア例，「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力，表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－10も参考になる。

（参照）

「平成21年度【中学校】報告書」P.195，「4年間のまとめ【中学校編】」P.111，

「言語活動事例集【中学校版】」P.37～P.38

## 設問三

### 趣旨

語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに，話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(ア) 話し言葉と書き言葉との違い，共通語と方言の果たす役割，敬語の働きなどについて理解すること。

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(イ) 抽象的な概念を表す語句，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し，語感を磨き語彙を豊かにすること。

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型	反応率 (%)	正答
9	三 ア	1 1と解答しているもの	97.7	◎
		2 2と解答しているもの	0.9	
		3 3と解答しているもの	0.4	
		4 4と解答しているもの	0.5	
		9 上記以外の解答	0.0	
		0 無解答	0.5	
	三 イ	1 1と解答しているもの	28.0	
		2 2と解答しているもの	11.2	
		3 3と解答しているもの	3.8	
		4 4と解答しているもの	56.0	◎
		9 上記以外の解答	0.0	
		0 無解答	0.9	

	三 ウ	1	1と解答しているもの	7.6	
		2	2と解答しているもの	0.6	
		3	3と解答しているもの	84.3	◎
		4	4と解答しているもの	6.9	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.7	
	三 エ	1	1と解答しているもの	71.2	◎
		2	2と解答しているもの	15.8	
		3	3と解答しているもの	4.0	
		4	4と解答しているもの	8.1	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.8	
	三 オ	1	1と解答しているもの	3.1	
		2	2と解答しているもの	20.5	
		3	3と解答しているもの	49.5	◎
		4	4と解答しているもの	26.1	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.7	
	三 カ	1	1と解答しているもの	3.8	
		2	2と解答しているもの	87.1	◎
		3	3と解答しているもの	7.0	
		4	4と解答しているもの	1.2	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.9	

## 分析結果と課題

- **ア**の正答率は97.7%，**ウ**の正答率は84.3%，**カ**の正答率は87.1%であり，相当数の生徒ができています。
- **イ**の正答率は56.0%であり，課題がある。  
解答類型1の反応率は28.0%，解答類型2の反応率は11.2%である。これらは，「口火を切る」という慣用句の意味が理解できていないものと考えられる。
- **エ**の正答率は71.2%である。  
解答類型2の反応率は15.8%である。これは，「縁の下の力持ち」ということわざになじみがなかったものと考えられる。
- **オ**の正答率は49.5%であり，課題がある。  
解答類型2の反応率は20.5%，解答類型4の反応率は26.1%である。これらは，「たなびく」という語句の意味を実際の様子と結び付けて理解できていないものと考えられる。
- **イ**については，平成20年度全国学力・学習状況調査及び平成13年度小中学校教育課程実施状況調査，**オ**については，平成24年度全国学力・学習状況調査及び平成6年度教育課程実施状況に関する総合的調査研究と同一の問題とした。



〈過去の調査における正答率との比較〉

( ) の中には実施年度/実施学年

出題語句	過去の調査	過去の出題時の設問	正答率	
			過去の調査	今回の調査
イ 口火	全国学力・学習状況調査 (平成20年度/第3学年)	彼がこの討論の(1火種 2点火 3火薬 4口火)を切った。	55.4%	56.0%
	小中学校教育課程実施状況調査 (平成13年度/第3学年)	彼が討論の(1口火 2点火 3火薬 4火種)を切った。	55.0%	
オ たなびく	全国学力・学習状況調査 (平成24年度/第3学年)	(1たてこもる 2たちならぶ 3たなびく 4たたずむ)雲の間から、春の光がもれている。	47.9%	49.5%
	教育課程実施状況に関する 総合的調査研究 (平成6年度/第1学年)		26.0%	

## 学習指導に当たって

### 場面に即した語句・語彙指導の工夫

語句の意味について理解を深めるためには、語句の辞書的な意味を基にして、文脈に即して意味を捉えるように指導することが大切である。特に、日常生活で使うことの少ない語句について指導をする際には、実際に使われている場面を取り上げてその意味を確認し、短文を作ったり、別の表現で言い換えたりする学習活動が有効である。また、誤った意味で使われやすい言葉や、使い分けが紛らわしい言葉を指導する際には、語句の意味や用法を具体的な場面と合わせながら学習させることが大切である。さらに、読書指導と関連付けて、機会を捉えて指導することも効果的である。

指導に当たっては、平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A[8]三、平成24年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A[7]三、平成26年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語A[8]三に係る授業アイディア例も参考になる。

(参照)

「平成21年度【中学校】授業アイディア例」P. 2, 「平成21年度【中学校】報告書」P. 200,  
「4年間のまとめ【中学校編】」P. 110, 「平成24年度【中学校】報告書」P. 162,  
「平成26年度【中学校】授業アイディア例」P. 8

## 設問四

### 趣旨

単語の類別について理解しているかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ

(エ) 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。



## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
9	四 ①	1	1と解答しているもの	22.8	
		2	2と解答しているもの	9.3	
		3	3と解答しているもの	63.1	◎
		4	4と解答しているもの	3.9	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.9	
	四 ②	1	1と解答しているもの	34.7	◎
		2	2と解答しているもの	6.9	
		3	3と解答しているもの	21.8	
		4	4と解答しているもの	35.6	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	1.0	

## 分析結果と課題

- ①の正答率は63.1%であり、課題がある。  
解答類型1の反応率は22.8%である。これは、「青い」という単語のもつ文法的な役割や品詞の名称を理解できていないものと考えられる。
- ②の正答率は34.7%であり、課題がある。  
解答類型3の反応率は21.8%、解答類型4の反応率は35.6%である。これらは、名詞が主語となるなど、それぞれの品詞が文のどのような成分になるかを理解できていないものと考えられる。

## 学習指導に当たって

### 単語の類別における指導の工夫

単語を正しく類別するには、単に文法的な知識として学習するだけではなく、具体的な文章を通して考えるように指導することが大切である。例えば、伝えたい内容を明確にするためにはどのような語順にすればよいのかなどについて検討させるとともに、それぞれの単語が文の中でどのような働きをしているかを考えさせることが重要である。また、そのことが目的や意図に応じた文章を書くことにつながることを意識させる必要がある。さらに、各領域の学習の中で単語の類別について意図的に取り上げて、知識の定着を図ることも大切である。

## 設問五

### 趣旨

毛筆を用いて、楷書で文字を書くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(2)

ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
9	五	1	㊦と解答しているもの	1.9	
		2	㊧と解答しているもの	5.5	
		3	㊨と解答しているもの	5.7	
		4	㊩と解答しているもの	86.1	◎
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.8	

## 分析結果と課題

○ 正答率は86.1%であり、相当数の生徒ができている。

## 学習指導に当たって

### 楷書の指導の工夫

毛筆を使用する書写の指導は、硬筆による書写の能力の基礎を養う。小学校での学習を踏まえ、楷書の筆使いを確かめることは、字形を整えて書く上で重要である。日常生活や各教科等で発表資料や掲示物を作成する際には、筆記具や作成物の特徴に合わせて、習得した知識や技能が活用できるように指導することが引き続き大切である。

## 設問六

### 趣旨

手紙の書き方を理解して書くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(2)

ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
9	六	1	1と解答しているもの	22.1	
		2	2と解答しているもの	58.5	◎
		3	3と解答しているもの	10.4	
		4	4と解答しているもの	7.9	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	1.1	

## 分析結果と課題

○ 平成24年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語B<sup>1</sup>三では、「手紙の構成を理解し、後付けを書くことができるかどうかをみる」問題（正答率 23.6%）に課題が見られた。

これを踏まえて、手紙の書き方を理解して書く問題を出題したところ、正答率は58.5%であった。

今回の結果から、手紙の構成を理解して書くことに課題があると考えられる。

- 解答類型 1 の反応率は22.1%，解答類型 3 の反応率は10.4％である。これらは，相手の名前を自分の名前や日付より高い位置に書いて相手への敬意を表すという後付けの形式の意味を理解できていないものと考えられる。

## 学習指導に当たって

### 手紙の基本的な形式に込められた意味を理解する

手紙を書く際には，伝える相手の立場や気持ちに配慮し，手紙の基本的な形式を理解して書くように指導することが大切である。その際，手紙の形式に込められた相手への敬意についても考えさせることが重要である。例えば，各教科等で，依頼状や礼状などを実際に書くなどの学習活動が有効である。

(参考)

○平成24年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語B 1三

**1**

中央小学校の平川さんの学級では、働くことの大切さについて発表し合うことになりました。平川さんのグループでは、先月、学級に招いた「かがやきの森動物園」の園長の宮本さんにあらためて話を聞くことになりました。次は、代表の平川さんが「手紙の構成」をもとにしながら書いている、動物園への訪問をお願いする「手紙の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【手紙の構成】

■前文  
はじめのあいさつ  
季節の言葉や自分の様子  
あいさつ

■本文  
中心になること  
手紙を出す理由  
やお願いする内容など

■後付け  
（手紙の最後に付ける内容）  
名前や日付など

【手紙の下書き】

木々の緑が美しい季節となりました。先日はお忙しい中、わざわざ中央小学校までおこしいただき、ありがとうございました。わたしは、その時、学級を代表してお礼の言葉を申し上げた、六年一組の平川春美です。その後、お元気でいらっしゃいますか。

今日は、宮本さんにお願ひがあり、手紙を書きました。たん仕の前田先生から事前に連絡を申し上げたかと思いますが、わたしたちの学級では、働くことの大切さについて調べたことをグループごとに発表し合うことになりました。そこで、わたしたちのグループでは、動物と関わる仕事について詳しく調べて発表しようと考えました。

つきましては、

**A**

そのために一度、宮本さんの職場にうかがわせていただくことはできないでしょうか。勝手なお願ひで大変申しわけありませんが、ほう問ができるかどうか、お返事をいただければと思います。

お返事には、

**B**

お返事の内容を確かめさせていただき、そろそろへうかがう日時について、できるだけ早くお電話を差し上げるようにします。

ご連絡をおかけしますが、ご協力をいただけますよう、どうかよろしくお願ひします。これからお体に気をつけてお過ごしください。

**ウ**

**ア**

**イ**

三 平川さんは、手紙の後付けを書こうとしています。【手紙の下書き】の ア・イ・ウ の中に、どのような内容を書くかよいですか。次の1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 中央小学校 六年一組 平川 春美

2 かがやきの森動物園 園長 宮本 真一様

3 平成二十四年五月七日

二 (略)

一 (略)

### 解答類型と反応率

設問番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
①	三	1	アに3, イに1, ウに2と解答しているもの	23.6	◎
		2	アに3, イに2, ウに1と解答しているもの	21.5	
		3	アに2, イに1, ウに3と解答しているもの	25.9	
		4	アに1, イに3, ウに2と解答しているもの	6.4	
		5	アに1, イに2, ウに3と解答しているもの	4.4	
		6	アに2, イに3, ウに1と解答しているもの	14.8	
		9	上記以外の解答	1.4	
		0	無解答	2.0	

### 設問七 1

#### 趣旨

漫画の内容を参考にして、登場人物の思いやものの見方を想像することができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

### 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
⑨	七 1	1	㊦と解答しているもの	2.9	
		2	㊧と解答しているもの	5.5	
		3	㊨と解答しているもの	75.7	◎
		4	㊩と解答しているもの	14.5	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	1.4	

### 分析結果と課題

○ 正答率は75.7%である。

○ 解答類型4の反応率は14.5%である。これは、【漫画の一部】と【古典の文章の一部】とを対応させて、かぐや姫と翁の会話の内容を理解することができなかったものと考えられる。

### 学習指導に当たって

#### 古典に親しむための指導の工夫

古典の学習の際には、古典への興味・関心を深めることができるように指導することが大切である。その際、漫画や絵本、映像メディアを活用するなど、様々な指導の工夫が考えられる。例えば、漫画や絵本と古典の文章とを対応させて内容を大まかに捉えさせるなどの学習活動が考えられる。

**設問七 2****趣旨**

代表的な古典の作品に関心をもつことができるかどうかをみる。

**■学習指導要領における領域・内容**

〔第1学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)ア

(イ) 古典には様々な種類の作品があることを知ること。

**解答類型と反応率**

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
9	七 2	1	「竹取物語」と解答しているもの	67.2	◎
		9	上記以外の解答	23.1	
		0	無解答	9.7	

**分析結果と課題**

- 正答率は67.2%であり、代表的な古典の作品を、作品名と結び付けて理解することに課題がある。
- 解答類型9の反応率は23.1%である。「かぐや姫」、「源氏物語」などという誤答が見られた。これらは、登場人物の名前や同じ種類の作品と混同しているものと考えられる。

**学習指導に当たって****様々な古典に親しむ**

古典には様々な作品があり、その作品群は一般的に幾つかの種類に分類される。それらの種類と小学校から親しんできた様々な古典とを結び付けることで、古典の世界についての新たな興味・関心を喚起することができるように指導することが大切である。その際、古典作品を紹介する言語活動などを通して、作品の内容とともに、作品名などにも着目させることが有効である。

**※出典等**

七の【漫画の一部】は、平田喜信監修『くもんのまんが古典文学館 竹取物語』（平成3年9月 くもん出版）による。

### 3. 教科に関する調査の各問題の分析結果と課題

#### (3) 中学校 国語B

# 国語B 1 資料を作成して発表する（オカリナ）

【フリップ】

1 オカリナとは

- ハトに似た形の笛
- イタリア生まれ

イタリア語では「小さなガチョウ」



ハト

2 オカリナの特徴



3 気軽に楽しめる

- リコーダーと似た指使い
- 持ち運びやすい大きさ
- 簡単な曲ならすぐ吹ける!!



【ノート】

発表の流れ	その他の情報
■ 聞き手を見てから話し始める	※ 状況に応じて使用する
○ 始めの言葉	
1 ○ オカリナはハトの形に似た楽器。	
○ イタリアで生まれ世界に広まった。	
○ イタリア語では、「小さなガチョウ」という意味である。	※ ガチョウの頭の形に似ている、体の形に似ているなど様々な説がある。
■ 問いかけて問を置く	
2 ○ 材質は? → 素焼きの陶器のものが多い。	※ プラスチックのものもある。
○ 音色は? → 吹き口から息を吹き込むと、温かみのある音色が出る。	
○ 指穴の数は? → 12個が多い。（表側に10個、裏側に2個）	※ イタリアでは、10個が多い。
3 ○ リコーダーと同じような指使い。	
○ ポケットに入るくらいの大きさ。	※ いろいろな形や大きさのオカリナがある。
○ 簡単な曲なら、すぐ吹けるようになります。吹ける曲が増えると、ますます楽しくなる。	
■ 質問がないか尋ねる	
○ 終わりの言葉	

1 森田さんは、国語の時間に、自分の特技についてスピーチをする学習に取り組んでいます。次は、発表の際に使用する「フリップ」と「ノート」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。（「ノート」と「フリップ」にある1から3は、発表の際に使う順番を表します。）

（注）フリップは説明に用いる、図や絵、言葉などを書いた大判のカード。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

条件1 「フリップ」の内容と結び付けて、理由を具体的に書くこと。  
条件2 五十文字以上、八十文字以内で書くこと。

A	「フリップ」2の説明のとき
B	「フリップ」3の説明のとき

〈演奏するタイミング〉

三 森田さんは、聞き手に一層興味をもってもらうために、発表の中で、オカリナを実際に演奏することにしました。あなたなら、どのタイミングで演奏しますか。次の〈演奏するタイミング〉のA、Bから一つ選び、①からの〈演奏するタイミング〉を選んで、その〈演奏するタイミング〉を選んだ理由を、あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。



実際にオカリナを演奏する

【ポイント】

- ア イラストや写真などを用いて、視覚的に分かりやすくする。
- イ 複雑なデータを、グラフや表を使って整理する。
- ウ 要点を整理し、伝えたい内容を短い言葉で示す。
- エ 資料を引用するときは、出典を明示する。

二 次は、フリップを作成する際の「ポイント」です。森田さんが取り入れていることとして適切なものを、「ポイント」のAからEまでの中から二つ選びなさい。

- 発表の順番を場の様子に応じて変える場合。
- 聞き手から出された質問に答える場合。
- 時間に余裕があるときに付け足して説明する場合。
- 言葉の抑揚や強調、間の取り方を変える場合。

一 森田さんが「ノート」の「その他の情報」の欄に書いたことは、どのような場合に役立てることができそうですか。次の1から4までのうち、適切なものを二つ選びなさい。





## 分析結果と課題

- 正答率は73.6%である。
- 解答類型9の反応率は26.2%である。これは、「その他の情報」の欄に書かれている情報が発表する内容をより詳しくした情報であり、補助的に活用できるものであることを理解できていないものと考えられる。

## 学習指導に当たって

### 状況に応じて補助的に活用する資料を準備する

スピーチやプレゼンテーションをする際には、聞き手の反応や時間的な余裕に応じて話を追加したり変更したりする必要がある。その際、中心となる情報に加えて、それを補うために適宜使用する情報を資料として準備しておくことが大切である。

## 設問二

### 趣旨

効果的な資料を作成し、活用して話すことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと

ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。 《話すこと》

## 解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型			反応率 (%)	正答
①	二	1	ア、ウと解答しているもの	87.5	◎
		9	上記以外の解答	12.1	
		0	無解答	0.4	

## 分析結果と課題

- 正答率は87.5%であり、相当数の生徒ができている。
- 解答類型9の反応率は12.1%である。これは、効果的に話すための資料作りの工夫について理解できていないものと考えられる。

## 学習指導に当たって

### 効果的な資料を作成する

スピーチやプレゼンテーションをする際、フリップ等の資料を使うと、より分かりやすく伝えることができる。資料を作成する際には、資料を提示する意図を明確にし、その効果を考えながら作成するように指導することが引き続き大切である。その際、イラストや写真などを用いて視覚的に捉えられるようにしたり、伝えたい内容を短い言葉でまとめて要点を捉えやすくしたりするなど、資料を作成するポイントを具体的に示すことも大切である。

### 設問三

#### 趣旨

資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書くことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 A 話すこと・聞くこと

ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。 《話すこと》

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。  
《記述》

#### 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
①	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① AとBのいずれか一つの〈演奏するタイミング〉を選んで、その記号を塗り潰している。 ② 【ノート】の内容と結び付けて、〈演奏するタイミング〉を選んだ理由を具体的に書いている。 ③ 五十文字以上、八十文字以内で書いている。 (正答例) ・ A 温かみのある音色といっても言葉だけでは分かりづらいと思うので、実際に演奏して聞かせれば、聞き手が音の温かみを実感し、一層興味をもってもらえると思うからです。(79字) ・ A フリップ②のときにオカリナを吹くところを見れば、吹き口への息の吹き込み方や、指穴を押さえる様子がよく分かり、興味をもってもらえると思う。(69字) ・ B 私なら③のときに吹きます。なぜなら、ここで吹けば、オカリナがリコーダーと同じような指使いであることを見せられ、演奏の仕方を理解してもらえるからです。(75字) ・ B 実際に簡単な曲を吹いてみせれば、この曲ならすぐに吹けそうだと思う、聞き手がやってみたい気持ちになるから。(53字)		
	1 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	56.6	◎
	2 条件①, ②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	0.2	
	3 条件①, ③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	34.4	
	9 上記以外の解答	6.1	
	0 無解答	2.7	

## 分析結果と課題

- 正答率は56.6%であり，目的や状況に応じて資料等の提示の仕方を工夫し，その意図や理由についてまとめ，根拠をもって具体的に説明することに課題がある。
- 解答類型3の反応率は34.4%である。具体的な例としては，以下のようなものがある。

(誤答例)

・ B

フリップ[2]と[3]でオカリナについて説明しているため，その説明を聞いてから演奏した方がより伝わると思うから。それに最後に演奏した方が印象に残ると思うから。  
(76字)

このように解答した生徒は，〈演奏するタイミング〉を選んだ理由を，【ノート】の内容と結び付けて書くことができていない。

(誤答例)

・ A

なぜなら，[2]はオカリナの温かみのある音色や陶器などの材質を説明していて，[3]は発表のまとめの働きをしている。よって，[2]のタイミングの方がよいから。(73字)

・ B

フリップ[3]で，リコーダーと同じような指使いであることや，簡単な曲ならすぐ吹けるようになることを説明しているからです。  
(59字)

このように解答した生徒は，〈演奏するタイミング〉を選んだ理由を具体的に書くことができていない。

- 「4年間のまとめ【中学校編】」では，資料の提示の仕方を工夫し，その方法を説明することに課題があると分析している。本設問では，正答率は56.6%であったことから，この点については，引き続き課題があると考えられる。

## 学習指導に当たって

### 目的や状況，相手に応じて資料を効果的に活用する

スピーチやプレゼンテーションをする際には，話の要点を明らかにし，聞き手の理解を促すために，資料を効果的に活用する必要がある。その際，どのような資料を，どのタイミングで提示するのか，事前に使用する目的などを確認して考えることが大切である。また，発表後に，説明した内容や資料を提示したタイミングなどについて，なぜそうしたのかという理由を互いに説明し合い，その効果を確認することも大切である。

指導に当たっては，平成22年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語B[2]三に係る授業アイデア例，「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力，表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－6，国語－11も参考になる。

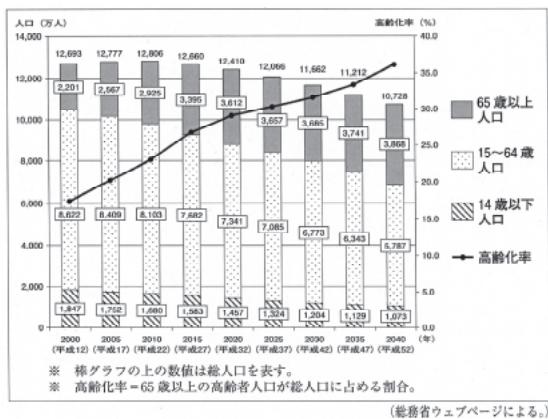
(参照)

「平成22年度【中学校】授業アイデア例」P. 5，「平成22年度【中学校】報告書」P. 169，「4年間のまとめ【中学校編】」P. 88，「言語活動事例集【中学校版】」P. 29～P. 30，P. 39～P. 40

## ※出典等

【ノート】や【フリップ】は，橋本愛子編著『はじめの一步 オカリナ入門ゼミ』（平成25年9月 自由現代社）などを参考にした。

## 国語B 2 情報に関連させて読む (2020年)



### 生活を支援するロボットの開発

世界では、様々なロボットの開発が進められている。例えば、人の移動を支援する搭乗型ロボット。このロボットの中には、10年以上前から実用化されているものもあり、空港でのパトロールなどに使われている。現在、日本では、「生活支援ロボット」の開発が行われている。誰でも簡単に乗り降りでき、日常生活での移動を助ける搭乗型ロボットの開発に加え、装着型ロボットの開発も進んでいる。これは、装着した人の意思を読み取って身体の動きをサポートするロボットである。身体機能の回復のためのリハビリテーションなどで既に一部導入されているが、今後は、足腰の弱った人の歩行支援、重たい荷物の持ち上げ、レクリエーション活動など、幅広い場面での活用が期待されている。このように、人間の生活を支援するロボットの開発が、日夜進められているのだ。



【B】日本の人口推移を表したグラフ

【C】雑誌の記事の一部

## Discover Tomorrow

～未来(あした)をつかもう～

世界のスポーツ界が急速な変化や様々なチャレンジに直面する中で、東京は「素晴らしい大会を確実に開催し、オリンピックとパラリンピックの価値を次世代に受け継いでいく」ことを訴え、招致の成功を実現することができました。そのメッセージは、世界に約束できる3つの強みによって支えられています。

まず、安心、安全、確実な大会開催。世界有数のインフラやセキュリティを誇る東京の都市力に加え、大会は政府のバックアップを受けて開催されます。数々の国際競技大会開催経験に基づく日本の運営能力も、円滑な大会運営に貢献します。

次に、オリンピック・パラリンピックへの日本の情熱。大都市東京の中心で、多くのファンによって選手に大歓声が送られる大会は、かつて類を見なかったような素晴らしい祝祭となって、世界中の人々を熱狂に駆り立てます。

3つめに、イノベーション。最先端都市東京の中心で、日本のテクノロジーや想像力を結集し革新に満ちた大会を開催することで、オリンピック・パラリンピックのインスピレーションを世界中の若者たちへ届けることができます。

また、招致が決定したブエノスアイレスのIOC総会では、日本のプレゼンターが、東日本大震災以降、日本人があらためて気づいたスポーツの真の力についても訴えました。

震災復興に際して、多くのアスリートたちが被災地に足を運んでいます。活動の中で、子供たちがスポーツを通じて少しずつ笑顔になっていく様子を目の当たりにし、私たちはスポーツやアスリートが社会において果たせる役割についてあらためて気づくことができました。2020年の大会開催に向けて、今度はそのスポーツの力を世界に伝えて、社会におけるスポーツの価値向上に貢献する、それが日本の決意です。

(公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ウェブページによる。)

- (注1) インフラ＝インフラストラクチャーの略。道路、鉄道、学校、病院など、社会生活の基盤となる構造物の総称。  
(注2) イノベーション＝技術革新。これまでとは異なった新しい発見。  
(注3) インスピレーション＝ここでは、オリンピックやパラリンピックがもたらす刺激のこと。  
(注4) IOC総会＝国際オリンピック委員会の会議。

【A】ウェブページの文章

【2】次の資料は、「A ウェブページの文章」、「B 日本の人口推移を表したグラフ」、「C 雑誌の記事の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【1】雑誌の記事の一部

【A】ウェブページの文章の内容について述べた次の文の「ア」と「イ」に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

オリンピック・パラリンピック招致の際に、日本は、二〇二〇年の大会開催に向けて世界に約束できる「ア」と、東日本大震災以降、日本人があらためて気づいた「イ」について訴えた。

- |   |   |         |   |          |
|---|---|---------|---|----------|
| 1 | ア | 東京の運営能力 | イ | 社会の価値向上  |
| 2 | ア | 3つの強み   | イ | スポーツの真の力 |
| 3 | ア | 素晴らしい祝祭 | イ | 子供たちの笑顔  |
| 4 | ア | テクノロジー  | イ | アスリートの役割 |

【C】雑誌の記事の一部に書かれていることとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 リハビリテーションやレクリエーション活動などを支援する装着型ロボットが、日本では既に普及しているということ。
- 2 空港でのパトロールなどに使用されている搭乗型ロボットが、10年以上前に、日本で初めて開発されたということ。
- 3 装着した人の意思を読み取り身体の動きをサポートする装着型ロボットの開発が、日本で進められているということ。
- 4 人の移動を支援する搭乗型ロボットが、身体機能の回復のためにも役立つように、日本で改良されているということ。

三 あなたは、二〇二〇年の日本は、どのような社会になっていると予想しますか。また、その社会にどのような関わっていきたいと思いますか。あなたの考えを、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 資料「A ウェブページの文章」、「B 日本の人口推移を表したグラフ」、「C 雑誌の記事の一部」の中からいずれか二つを選び、その資料を選んでかまいません。それらの内容を取り上げて具体的に書くこと。

条件2 「二〇二〇年の日本は、」に続けて、八十文字以上、百二十文字以内で書くこと(解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。)

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

資料の記号

←選んだ資料の記号を二つ塗り潰しなさい。

A B C

二〇二〇年の日本は、

80

120

## 出題の趣旨

- ・ 目的に応じて文章を要約すること
- ・ 文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉えること
- ・ 複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと

### 設問一

#### 趣旨

目的に応じて文章を要約することができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》



## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
②	一	1	1と解答しているもの	5.9	◎
		2	2と解答しているもの	83.0	
		3	3と解答しているもの	6.0	
		4	4と解答しているもの	4.8	
		9	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	0.2	

## 分析結果と課題

- 正答率は83.0%であり、相当数の生徒ができています。

## 学習指導に当たって

### キーワードなどに着目して要旨を捉える

説明的な文章の要旨を捉える際には、キーワードなどに着目しながら文章を読み、段落相互の関係や文章の構成を確認するように指導することが引き続き大切である。

## 設問二

### 趣旨

文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉えることができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 《文章の解釈》

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
②	二	1	1と解答しているもの	11.1	◎
		2	2と解答しているもの	9.0	
		3	3と解答しているもの	68.4	
		4	4と解答しているもの	11.1	
		9	上記以外の解答	0.1	
		0	無解答	0.3	

## 分析結果と課題

- 正答率は68.4%であり、文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を的確に捉えることに課題がある。

- 解答類型1の反応率は11.1%、解答類型4の反応率は11.1%である。これらは、文章の「搭乗型ロボット」について説明している部分と「装着型ロボット」について説明している部分とを読み分けられず、要旨を的確に捉えられなかったものと考えられる。

## 学習指導に当たって

### 目的に応じて要旨を捉える

文章の要旨を捉える際には、論の展開の中心となる部分と、それを支える例示や引用などの付加的な部分とを読み分けて内容を理解する必要がある。例えば、取り上げられている例示についてノートに整理するなどの学習活動が考えられる。

## 設問三

### 趣旨

複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

〔第2学年〕 C 読むこと

オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。 《読書と情報活用》

## 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
②	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【A ウェブページの文章】、【B 日本の人口推移を表したグラフ】、【C 雑誌の記事の一部】の中からいずれか二つを選んで、その記号を塗り潰している。 ② 選んだ二つの資料の内容を適切に取り上げて書いている。 ③ 2020年の日本がどのような社会になっているかを予想して具体的に書いている。 ④ 社会にどのように関わっていきたいかを具体的に書いている。 ⑤ 「二〇二〇年の日本は、」に続けて、八十字以上、百二十字以内で書いている。 (正答例) ・ A と B (二〇二〇年の日本は,) オリンピック・パラリンピックの影響で様々なスポーツに注目が集まるだろう。今後増えていく高齢者もスポーツに関心をもつと思われる。そのような社会に、私は、スポーツ関連のボランティアをすることで積極的に関わっていきたい。(118字) ・ A と B (二〇二〇年の日本は,) B のグラフからも分かるように、高齢化が進んで若者が減っていると予想されるので、若者の代表として努力し、オリンピックでメダルを取って日本を盛り上げたいと思います。(91字)		



		<p>・ <b>AとC</b></p> <p>(二〇二〇年の日本は,) オリンピックの開催で多くの外国人が訪れる社会になっていると思う。空港などで様々なロボットが活用されることも予想できる。私は, ロボットを使ったり外国語で案内したりして, 訪れた人たちを助けられるように勉強を頑張りたい。(118字)</p> <p>・ <b>AとC</b></p> <p>(二〇二〇年の日本は,) おそらくオリンピックの開催に向けて技術開発が進み, 様々なロボットが開発されています。私は, そのような社会に関わっていくために, 大学で科学技術に関する研究をしたいと考えています。(99字)</p> <p>・ <b>BとC</b></p> <p>(二〇二〇年の日本は,) 高齢者が増え, その高齢者を支援する様々な生活支援ロボットが活躍する社会になっているのではないのでしょうか。私は, 今よりも更に安全で性能が高いロボットを開発する仕事に就き, 社会に貢献したいと思いました。(110字)</p> <p>・ <b>BとC</b></p> <p>(二〇二〇年の日本は,) 六十四歳以下の人口が今よりも減り, 介護する人の不足が社会で問題になっているだろう。私は, 装着型ロボットを使用して高齢者の介護をしていきたい。(81字)</p>		
		1 条件①, ②, ③, ④, ⑤を満たして解答しているもの	23.3	◎
		2 条件①, ②, ③, ④を満たし, 条件⑤を満たさないで解答しているもの	0.2	
		3 条件①, ②, ③, ⑤を満たし, 条件④を満たさないで解答しているもの	44.6	
		4 条件①, ②, ④, ⑤を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	0.1	
		5 条件①, ③, ④, ⑤を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	2.3	
		9 上記以外の解答	25.8	
		0 無解答	3.6	

## 分析結果と課題

- 平成24年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語B<sup>3</sup>四では, 「複数の記事を結び付けながら読み, 事実を基にして自分の考えをもつことができるかどうかをみる」問題(正答率38.1%)に課題が見られた。

これを踏まえて, 複数の資料から適切な情報を得て, 自分の考えを具体的に書く問題を出題したところ, 正答率は23.3%であった。

今回の結果から, 多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりすることに課題があると考えられる。特に, 社会にどのように関わっていききたいかについて, 自分の考えを書くことに課題が見られた。

- 解答類型3の反応率は44.6%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(誤答例)

・ AとB

(二〇二〇年の日本は,) 東京オリンピックが開催され、世界から多くの人がやって来て、世界とのつながりが広がるすばらしい社会になっていると思う。だけど、少子高齢化で大変な社会だとも思う。(90字)

このように解答した生徒は、2020年の社会にどのように関わっていきたいかを書くことができていない。

(誤答例)

・ BとC

(二〇二〇年の日本は,) 高齢化が進んでいくと考えられる。そうなれば、介護を必要とする人が増え、身体の動きを支援する装着型ロボットが幅広く活用されることになるだろう。自分もこれからの社会に関わっていきたい。(101字)

このように解答した生徒は、2020年の社会にどのように関わっていきたいかを具体的に書くことができていない。

- 解答類型9の反応率は25.8%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(誤答例)

・ AとC

(二〇二〇年の日本は,) 明るくてとてもよい国になっていると思います。今、皆がやっていることが、日本を支えていると思うし、夢が夢のままで終わらないように頑張って活動している人がたくさんいるからです。私も頑張って関わっていきたいと思います。(117字)

このように解答した生徒は、資料の内容を適切に取り上げて書くことができていない。また、2020年の日本がどのような社会になっているかを具体的に書くことや、社会にどのように関わっていきたいかを具体的に書くことができていない。

- 「4年間のまとめ【中学校編】」では、文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があると分析している。本設問では、正答率は23.3%であったことから、この点については、引き続き課題があると考えられる。

## 学習指導に当たって

### 多様な情報に触れながら、自分の考えをもつ

多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりするためには、複数の本や資料から得た情報を自分と結び付けて考えることが重要である。その際、それぞれの資料に書かれていることを正確に理解した上で、感じたことや考えたことを他の人に話したり、文章に書いたりして、新たな気付きや問題意識を明らかにすることが大切である。

また、自分の考えを深めたり広げたりするためには、学校図書館やインターネットなどを利用し、主体的に情報を探すことも必要である。多様な情報を関連付けて読むことの指導に当たっては、新聞なども有効な教材となる。

○平成24年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語B 3 四

-73-

# 解答類型と反応率

設問番号		解 答 類 型	反応率 (%)	正答
③	四	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 「マラソンの世界記録上位5人」と「日本人選手の記録」の二つの記事を結び付けながら読み、金子さんの考えの理由となる事実を、両方から取り出したり、まとめたりして書いている。 ② 「そのように考えた理由は、」に続くように、40字以上、60字以内で書いている。		
		1 条件①、②を満たしているもののうち、条件①については、順位、名前、記録の三つを取り上げているもの	1.5	◎
		2 条件①、②を満たしているもののうち、条件①については、順位、名前、記録の中から二つを取り上げているもの	30.3	◎
		3 条件①、②を満たしているもののうち、条件①については、順位、名前、記録の中から一つを取り上げているもの	6.3	○
		4 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	2.1	
		5 条件①を満たしていないもののうち、金子さんの考えの理由となる事実を、一つの記事のみから取り出したり、まとめたりしているもの *条件②を満たしているかどうかは不問とする。	28.1	
		9 上記以外の解答	14.8	
		0 無解答	16.9	
		正答率	38.1	

## ※出典等

【A ウェブページの文章】は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ウェブページによる。

【B 日本の人口推移を表したグラフ】は、総務省ウェブページを参考にした。

【C 雑誌の記事の一部】は、大分ロボケアセンター株式会社ウェブページ、経済産業省ウェブページ、公益財団法人日本デザイン振興会ウェブページ、生活支援ロボット安全検証センターウェブページ、セグウェイジャパン株式会社ウェブページ、CYBERDYNE株式会社ウェブページなどを参考にした。

【C 雑誌の記事の一部】にある「搭乗型ロボットの例」、「装着型ロボットの例」の画像は、生活支援ロボット安全検証センターウェブページによる。

国語B 3 文学的な文章を読む（「貉」）

3 次の文章は、小泉八雲が英語で書いた怪談「貉」の翻訳の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「こまでのあらすじ」 東京の赤坂にある紀伊国坂は、昔、日が暮れた後には人通りが少なく寂しい場所で、人を化かす「貉」という生き物が出没すると言われていた。そのため、人々は日没後、一人でこの坂をのぼるよりも、回り道をしたものであった。ある日の夜、急ぎ足で紀伊国坂をのぼっていた一人の男が、お蔭のそばで若い女がうずくまっていたことに気付いた。男は心配して若い女に声をかけたが、返事はない。

(小泉八雲「貉」による。)

(小泉八雲「貉」による。)

(注1) 小泉八雲＝明治期の小説家、英文学者。旧名ラフカディオ・ハーン。

お女中Ⅱ 当時の女性の敬称。

(注3) 突慥貪Ⅱ態度や言葉遣いが冷淡でとげとげしい様子。

(注4) 追廻き＝通行人をおどして衣類や金品などを奪うこと。また、それをする人

- 線部「お泣きななるな」は、原文では「おなご」(泣いてはいけない)の意味)と書かれています。この部分を「お泣きななるな」と翻訳したこと、どのようなことを伝える効果がありますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 面倒なことに関わらなくないと思っている、男の冷淡な人柄を伝える効果。
- 2 寂しい場所一人で話しかけられたため、男がおびえている様子を伝える効果。
- 3 若い女の身勝手な要求に対して、男が腹を立てている様子を伝える効果。
- 4 若い女を助けてやりたいと思っている、男の優しい人柄を伝える効果。

二 本文中の〔 〕で囲まれた部分の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 暗闇の中で見つけた光が小さくなっていく情景と、男の希望が失われていく様子を重ねて書いている。
- 2 暗闇の中で見つけた光が大きくなっていく情景と、男が懸命に救いを求める様子を重ねて書いている。
- 3 暗闇の中で見つけた光が小さくなっていく情景と、男の緊張感が徐々に高まる様子を重ねて書いている。
- 4 暗闇の中で見つけた光が大きくなっていく情景と、男が必死に相手に立ち向かう様子を重ねて書いている。

三 中学生の山田さんは、以前に読んだ昔話「のつべらぼう」の最後は、藪の屋がのつべらぼうになったところまで終わっていたことを思い出しました。あなたは、「貉」の「……そして、それと同時に、屋台の火も消えた。」という最後の一文は、あつた方がよいと思いますか、ない方がよいと思いますか。あなたの考えとその理由を、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1 最後の一文があつた方がよいか、ない方がよいかを明確にして書くこと。
- 条件2 話の展開を取り上げて、理由を書くこと。
- 条件3 五十字以上、八十字以内で書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

[illegible]

## 出題の趣旨

- ・ 表現の工夫について自分の考えをもつこと
- ・ 文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

### 設問一

#### 趣旨

表現の工夫について自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。

《自分の考えの形成》

## 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
③	1 1と解答しているもの	3.4	
	2 2と解答しているもの	4.6	
	3 3と解答しているもの	2.5	
	4 4と解答しているもの	88.8	◎
	9 上記以外の解答	0.0	
	0 無解答	0.5	

## 分析結果と課題

- 正答率は88.8%であり、相当数の生徒ができています。

## 学習指導に当たって

### 表現の工夫に注意して読み味わう

文学的な文章を読む際には、表現を味わいながら読むことが大切である。その際、文章の構成や展開、表現の特徴を捉えるとともに、その工夫や効果について考えながら読むように指導することが引き続き大切である。

### 設問二

#### 趣旨

表現の工夫について自分の考えをもつことができるかどうかをみる。

#### ■学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 C 読むこと

ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。  
《自分の考えの形成》



## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
③	二	1	1と解答しているもの	3.8	◎
		2	2と解答しているもの	83.0	
		3	3と解答しているもの	8.1	
		4	4と解答しているもの	4.4	
		9	上記以外の解答	0.0	
		0	無解答	0.7	

## 分析結果と課題

- 正答率は83.0%であり、相当数の生徒ができています。

## 学習指導に当たって

### 文章の構成や展開を捉え、表現の工夫を理解する

文学的な文章を読む際には、文章全体の構成や展開を捉えた上で、表現の工夫を理解するように指導することが引き続き大切である。特に、情景描写や登場人物の心情を表す表現の工夫について考える際には、取り上げた場面の情景や心情を他の場面と比較しながら、その効果について考えるように指導することが大切である。

## 設問三

### 趣旨

文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。

《記述》

〔第2学年〕 C 読むこと

ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。  
《自分の考えの形成》

## 解答類型と反応率

問題番号		解 答 類 型		反応率 (%)	正答
③	三	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 最後の一文があった方がよいか、ない方がよいかを明確にして、自分の考えを書いている。 ② 話の展開を適切に取り上げて、理由を書いている。 ③ 五十字以上、八十字以内で書いている。			

	(正答例)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>最後の一文はあった方がよいと思います。なぜなら、最後が真っ暗闇で終われば、暗闇の恐ろしさが繰り返される展開になるため、読み手の恐怖感が一層増すと思うからです。(80字)</li> <li>蕎麦屋がのっぺらぼうになった直後に明かりが消えて暗闇になれば、この後、男がどうなるのだろうと読み手の想像が膨らむから、あった方がよい。(68字)</li> <li>ない方がよいと思います。のっぺらぼうが現れる場面で終わった方が、恐怖から逃れたと思ったのに再び恐怖に襲われるという展開の面白さが強調されるからです。(75字)</li> <li>逃げ込んだ先の蕎麦屋もののっぺらぼうだったという衝撃的な終わり方の方が男の恐怖感が伝わるので、ない方がよい。(54字)</li> </ul>		
1	条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	31.7	◎
2	条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	0.1	
3	条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	53.8	
4	条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	0.2	
9	上記以外の解答	3.3	
0	無解答	10.9	

## 分析結果と課題

○ 正答率は31.7%であり、最後の一文があった方がよいか、ない方がよいかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書くことに課題がある。無解答率は10.9%である。

○ 解答類型3の反応率は53.8%である。具体的な例としては、以下のようなものがある。

(誤答例)

- 最後の一文はあった方がよいと思います。なぜなら、その文があることによって読む人の想像が広がるとともに怖さを感じることができ、とても印象深くなるからです。(77字)
- 最後の一文はない方がよい。なぜなら、「のっぺらぼうとなった」というところで終わった方が、話が面白いから。(53字)

このように解答した生徒は、最後の一文があった方がよいか、ない方がよいかについて、自分の考えとその理由は書けているが、話の展開を取り上げて書くことができていない。

(誤答例)

- 女の顔には眼も鼻も口もなく、男は悲鳴をあげて逃げ出して、遠くに辛うじて蛍の火ぐらいの大きさに見えたものを屋台の火だと思ったので、あった方がよい。(73字)

このように解答した生徒は、話の展開を取り上げているだけで、理由を書くことができていない。

○ 「4年間のまとめ【中学校編】」では、文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題があると分析している。本設問では、正答率は31.7%であったことから、この点については、引き続き課題があると考えられる。



## 学習指導に当たって

### 文章の展開について、根拠を明確にして自分の考えをもつ

文学的な文章は、文章の展開の工夫が面白さの要因の一つとなっていることがある。文章の展開について自分の考えをもつためには、作品の全体像を捉えた上で、場面の役割等を分析的に考える必要がある。例えば、この場面がなかったらどのように作品全体の印象が変わるかなどについて、根拠を示しながら書いたり、話し合ったりする学習活動が考えられる。その際、自分の考えを支える根拠が明確に示されているかどうかを検討することが大切である。

指導に当たっては、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」国語－14も参考になる。

(参照)

「言語活動事例集【中学校版】」P. 45～P. 46

## ※出典等

「貉」の翻訳の一部は、「貉」（小泉八雲著／平川祐弘編『怪談・奇談』平成2年6月 講談社）による。

